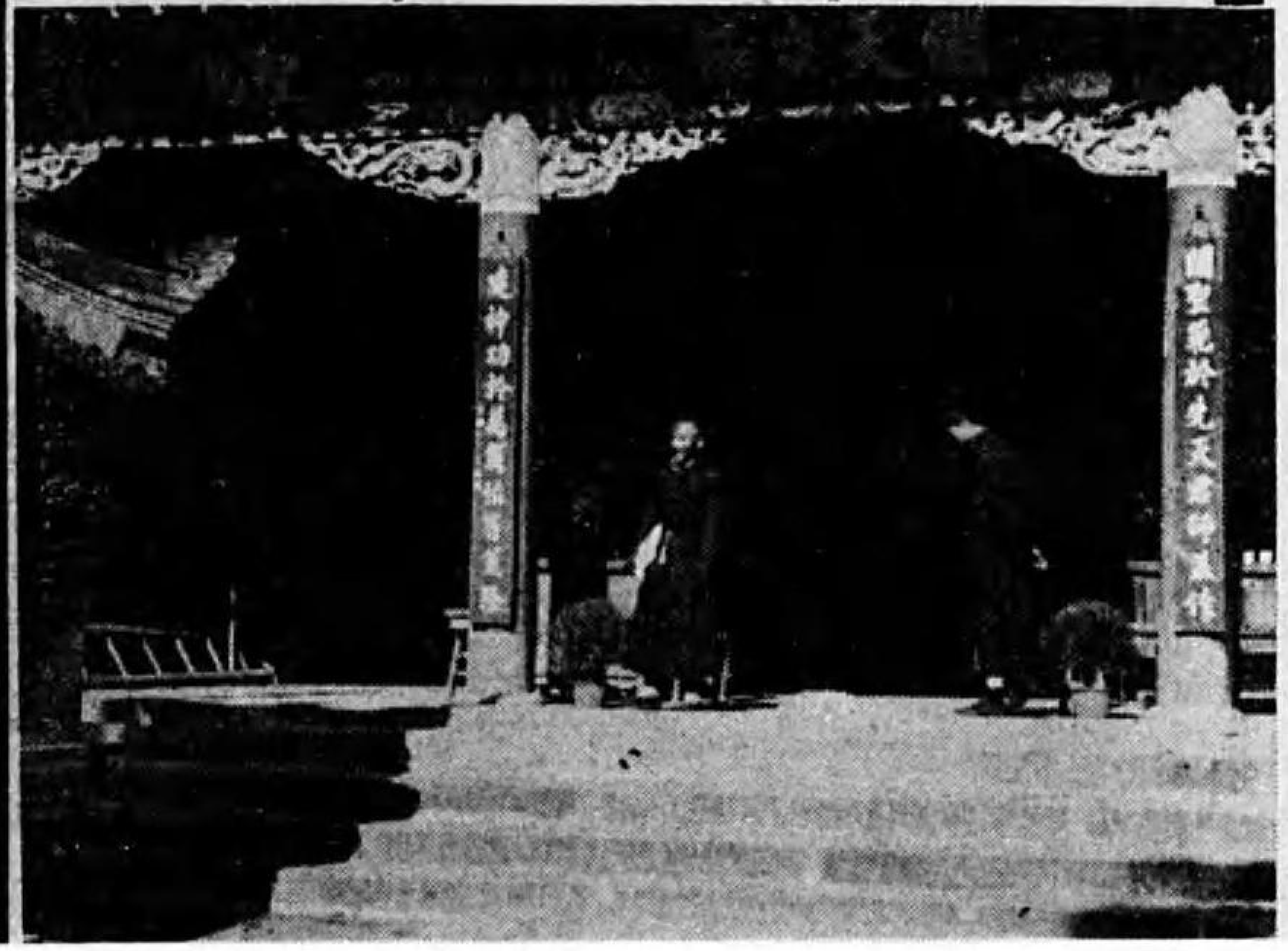
昭和九年三月

文部省教育映畫時報

第十三號



始

【目　次】

新作映畫解說…………一
　滿洲序篇…………一
　滿洲資源篇…………一七
　滿洲地方篇…………二六
敎育映畫評論…………五三
　英國に於ける敎育映畫運動…………五三
文部省製作活動寫眞「フイルム」目錄…………七七
フイルム頒布に就て…………八七
フイルム貸與に就て…………九〇

發行所寄贈本

279-56

新作映畫解説

滿洲序篇　全一巻

梗概

滿洲序篇は滿洲映畫三篇中の第一篇（全一巻）である。本篇は日本と滿洲との關係、滿洲の地理的概念等を簡畧に知らせる目的で、昭和七年八月九月撮影した材料及其他のものを、昭和八年初頭の滿洲の實状にあはせて編輯した映畫で、主要な内容は日滿の關係滿洲の位置、地勢日滿の國土人口の比較氣候風土行政區分交通等である。

内容

（太字はタイトル、細字は説明字句）

滿洲、それは古くから、我國と緣故の深い地であつて日清日露の戰にも同胞幾萬の聖血を流し

また今次の滿洲事變にも

我正當な權益を擁護するため多くの犧牲をはらつた土地である

我等日本國民はこの滿洲を理解しその實状を知つてをかなければならない

發行所控本

滿洲はアジア大陸の東に位しその南西は支那とその一部である蒙古に續き、北は黒龍江を東はウスリー江を境としてロシヤのシベリヤに接し、海を越えては近く日本を望んでゐる。その南端遼東半島は海に突入して渤海黄海を分つてゐる。

その位置

經緯度による位置を示せば、北は黒龍江沿岸北緯五三度三〇分、南は遼東半島の南端北緯三八度四三分、西は興安省の西端で東經百十五度二〇分、東は黒龍江とウスリー江の合流點東經百三十五度二十分。

その地勢

東部は一帶に山嶽が重疊してゐて、完達山脈、長白山脈、白頭山、本幹山脈がある。然し、

高さ一千米以上の山は極めて少い

滿洲の山は概して低い。この山は本幹山脈中の千山の連峯で、曾て匪賊の巣窟であつたところである。これ等の山脈がほゞ東北から西南へ走つてゐる。

完達山脈長白山脈白頭山本幹山脈興安嶺山脈小興安嶺山脈等は全く高原の觀を呈し、高山の感じに乏しい。

興凱湖ホロンノールバイルノール。ノールとはこの地方で池と云ふことである。滿洲の河は公主嶺東西の丘陵を分水嶺として明瞭に南北の系統を別にし、南滿洲に於ける朝鮮との國境の鴨綠江は黄海に、豆滿江は日本海に注ぎ、熱河省深く源を發してゐる。遼河は南滿洲の平野を濕ほして渤海に入つてゐる。北滿洲では滿洲事變で有名な嫩江が興安嶺山中に發して南流し、牡丹江と共に吉林省の奥から北流する松花江に合し共に北滿の平野を灌漑してゐる。これはハルビン附近の松花江で、橋は北滿線の鐵橋である。興凱湖から北流するウスリー江と外蒙古から東流する黒龍江はロシアと滿洲の東と北の國境をなし、東北隅で合流してオホーツク海に注ぐ。北滿の河は皆黒龍江に合し、南滿の三つの河は夫れ〳〵三つの海に入つてゐる。

これ等の河江の流域に滿洲の沃野がひろがつてゐる

殊に嫩江松花江遼河の流域は農產物の穀倉をなしてゐる。

滿洲の空氣は大陸性で寒暑の差が甚しい

東京は一月の三度が最も低く、二月三月四月五月六月七月と次第に上昇し、八月が最も高く二十五度五分である。其の後九月十月十一月十二月と急に溫度が下る。滿洲國の首府新京は

一月の零下十七度二分が最も低く、七月の二十三度四分が最も高い。

北海道の旭川は新京と同緯度にある

旭川と新京との寒暖の差を比較しても判るやうに、新京四十度餘、旭川三十度餘、東京は更に少く二十二度餘の差を示してゐる。この傾向は北滿に著しく南滿はこれ程ではない。

降水量（雨雪等）は我國より少い

新京は二月の六・五㎜から六月の百八十二・九㎜へと次第に增加し、又十二月まで次第に減ずる。然るに東京は六月に多く、七、八月とやゝ下り、九月が最も多く實に二百三十九・七㎜、つまり二米三九七も降るのである。東京の降水總量は新京の二倍半に近い。

一年のうち二百日以上も晴天なので空氣が乾燥してゐる

濕度は新京六十五%奉天六十七%大連六十六%で、我內地の乾燥地が七十%であるのに比べると何れも低く空氣の乾燥してゐることを示してゐる。

四季の寒暖晴雨濕度の程よい調和がこの肥沃な土地と相俟つて滿洲を世界的な農業地たらしめてゐる

滿洲は行政上滿洲國と我租借地關東州とに分れ滿洲國はその國土を五つの省に區分してゐる

（線畫說明）即ち熱河省、奉天省、吉林省、黑龍江省、興安省の五省がそれで、奉天省は其の西に三角形の飛地を持つてゐる。滿洲國は建國當時は立憲共和國で、全人民の推擧により溥儀氏を元首と仰だのである。溥儀氏は舊清朝の宣統帝である。關東州は滿洲で最も我國と緣故の深い地で、現に我租借地として我機關々東廳が旅順に設けられ、關東長官が統治してゐる。

首府を新京（長春）に置き、領域の廣さ百十四萬七千平方粁。日本租借地關東州は三千四百六十二平方粁。我國の全領土と滿洲國領土との比較をすれば、滿洲は日本の一、七倍である。

然るに人口は

滿洲三千四百萬、日本九千百萬、彼は我の五分の二足らずの人口である。更に一平方粁當り滿洲三十人日本百三十五人である事を見れば、滿洲が如何に拓けてゐないかがわかる。

滿洲開發のため活躍する交通網

先づ第一に我國が大いに力を注いで來た南滿洲鐵道（旅順。大連。奉天。新京）。

北滿洲鐵道（ハルビン、チ、ハル）。北滿線は且て東支鐵道中東鐵道等と呼ばれ、ロシアと滿洲國との共同經營になるものである。

其他にも我國其他の出資による鐵道が數多ある。

この交通網の發達は滿洲物資の輸送を圓滑にし益々この地を豊かにして行く

この他に更に多くの豫定線が計畫されて居り、定期航空路も次第にその航路を擴張しつゝある狀態である。

滿洲の風土は我國民の住むによく活動に適してゐる。殊にその豊富な資源は尙將來の開發を待ってゐるのである

正しい認識と强固な意志が、滿洲の開拓に參加する者の第一條件である。

滿洲資源篇　全二卷

梗概

滿洲資源篇は滿洲映畫三篇中の第二篇（全二卷）である。本篇は滿洲の主要資源の概要を會得さす目的で、昭和七年八月九月撮影したる材料及び其他のものを昭和八年初頭の實狀にあわせて編輯したもので、主要な內容は左の通りである。

第一卷　農產（高粱、大豆、米、果樹、棉、柞蠶）

第二卷　牧畜、林產、製鹽、鑛產（鐵、石炭、オイルセール）

第一卷

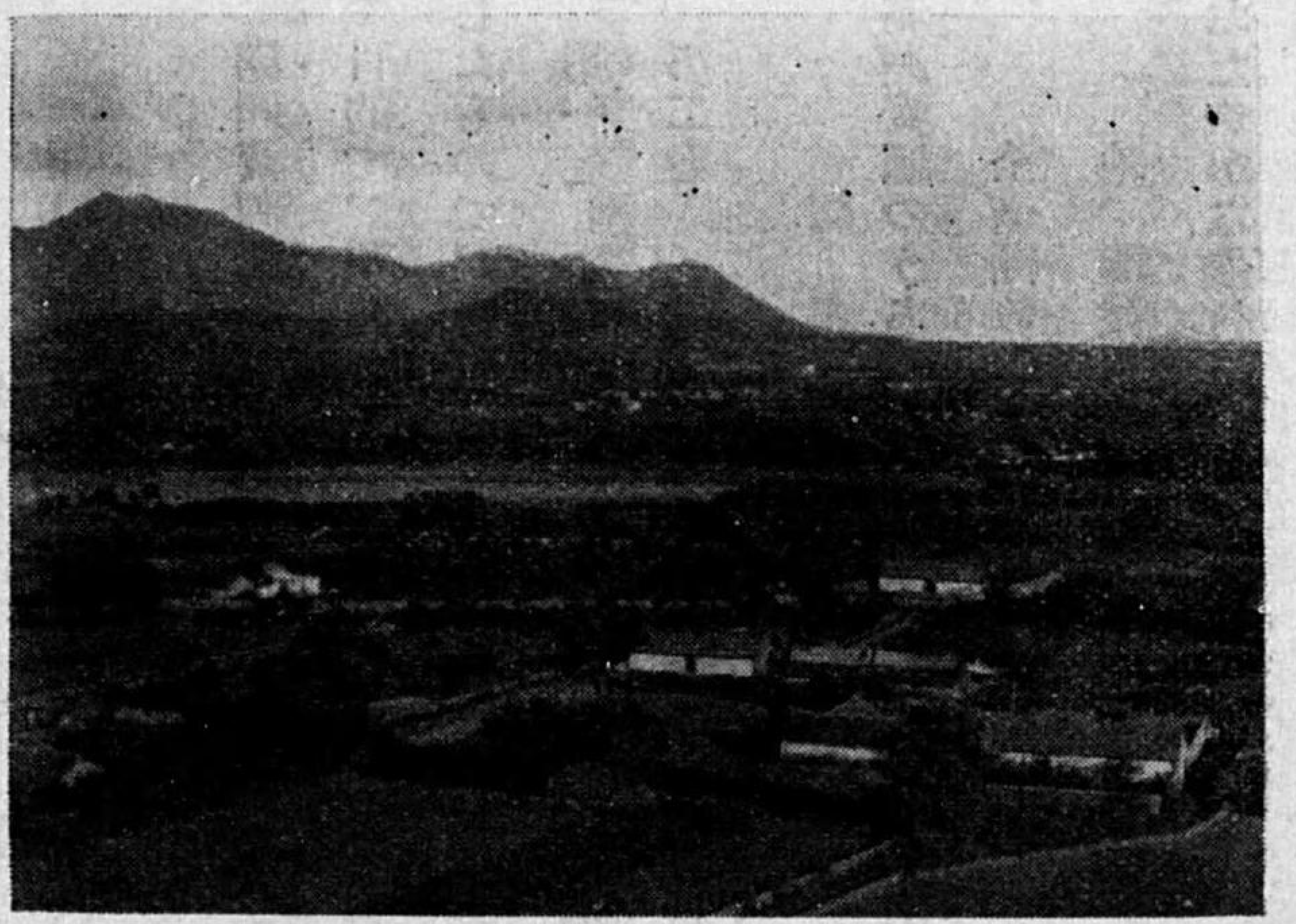
滿洲資源のうち最も豊富なものは農產である

全滿洲の二十五%は農耕地とすることが出來るが未だ其半ばも開墾されて居ない（主要農耕地、開發中農耕地混牧地等を示した線畫）

おだやかな農村

すべてがのんびりと唯々おだやかに生活して居る大陸の農民達は都會人のやうな歡樂を想像

もせず、粗衣粗食、自分等の環境に樂しみを見出しつゝ營々として滿洲の野を拓いて行く。我國から今後移住する人々も、この覺悟を以て事に臨まなければ決して大成しない。



滿洲人の主要食物である高粱はいたる處に栽培される

地平線の彼方までつゞく高粱の林は滿洲を代表する一風景である。

夏の終りに最も成長し高さ三米にも及ぶので馬賊の出沒には密接な關係がある

新國家成立後匪賊の掃滅は國家の一事業として努力され大いに其の成果を擧げて居るが、夏秋の粱繁茂期にはこれを利用する馬賊の出沒がなかなか絶えない。地方によつて多少の相異はあるが九月中にほゞ刈取つてしまふ。

りとつた高粱は數日乾燥の後穗を切り採る

穗を切る刄物は掌の內に持つて居る實に巧なものである。勿論穗を採るのが目的であるが、殘の桿もアンペラ等の建築材料或は農家の燃料として重寶な用途を持つてゐる。近來之を原料としてパルプを製造することも考へられてゐる。

高粱の子實は食料にするほか家畜飼料や高粱酒の原料にもなる

一年の生産額四百五十萬噸（三千五百萬石）大部分滿洲で消費されるが產額は世界第一である。

然し滿洲の大宗（タイソウ）は大豆である

農耕地の二十三%は高粱を、三十一%は大豆と言つた有樣で、滿洲の大豆栽培は非常なものである。大體に於て北滿には大豆、南滿には高粱が多い。

四五月頃播種して九月頃豆が成熟し葉が落ちてから收穫する

寒さの早く來る滿洲の收穫期は忙しい。默々として彼等滿洲の農民はその汗を以て得た代償、莫大な大豆を大地から受取つて行く。

調製場ではよく乾いた豆を枝のまゝ平らに展げてその上を小さい石の車をひき廻して脫粒する

石車にひかれて大豆が其のさやから飛び出すと云ふ方法である。

脱粒後風力を利用し精選して子實をとる

風が名物の滿洲である。甚だ原始的ではあるがこれで充分効果をあげることが出來るのであるから、子々孫々相傳へて今日も尙すたらずに行はれてゐる。こうして美しい艶やかな粒となつて農家の倉庫へ收められる。

その年產額は五百三十萬瓩（四千萬石）滿洲農產物中の首位を占めるばかりでなく、世界大豆產額の六十五%を占めなほ年々增產の傾向を示しゐる

我國が滿洲大豆をヨーロツパに紹介したのが動機となつて莫大な需要を得、今日の樣な盛況をもたらすに至つたのである。

出廻りの期が近づくと大豆も高梁も町の糧棧へ賣られる

收穫の調製が完了した十一月頃から滿洲は全く冬に入る。此の頃から翌年の二月頃迄農產物が最も多く出廻り取引が盛んになる。

糧棧（穀物問屋）

リヤンザンと云はれて居り、大豆や高梁其他の穀類の仲買問屋である。鐵道の沿線に大きな

店を構えその構内の中庭には出廻り期になると穀物と入れる囤（トン）が澤山立ち並ぶ。

囤（アンペラで捲いだ穀物入れ）

長い帶の樣なアンペラで穀物をあけては捲きあげては捲き上げて出來た、柱も何もない圓筒狀のものである。

一囤の大豆は一、二二瓩（九十四石）貨車四臺積、價格約一萬圓に相當する。賣る時には再び蔴の袋へつめて目方で取引するのである。

出廻期の停車場

後から〳〵と大豆が持ち込まれる停車場の構内は見渡す限り大豆袋の山になる。買主は自分の店の印を袋に押してそれ〴〵の地方へ運び去る。此の期節の北滿の停車場は大變なにぎはひである。滿洲大豆五百三十萬瓩の七八十%は輸出される。この點が同じく世界第一の產額でも高梁と大豆では非常にちがうのである。

大豆はそのまゝに或は大豆油や豆粕として歐洲支那我國等へ輸出される

大體全額の六十%が豆のまゝ、四十%が油と粕とになつて輸出される樣である。

その金額は一ケ年約一億圓滿洲全輸出額の過半を占めてゐる

米の產額は現在十一萬瓩（百六十萬石）に過ぎないが大河の流域等になほ多くの開發の餘地を殘してゐる

吉林省の東部間島地方に古く移住した我朝鮮の同胞が水田法を傳へてから滿洲の米作は一進展を示した。然し滿洲農業全體から見ればまだ極めて微々たるもので、凡ゆる點から將來に問題を殘して居る。

南滿洲殊に遼東半島では果樹の栽培が盛んである

果樹の改良には日本人も滿洲人も努力して來たが、近來その成果を得、名聲を世にあらはすに至つた。風土需要等の關係から林檎が多い。

生產果樹の八十%は苹果（林檎）である

滿洲の林檎は甘味に富み、その名にそむかない風味を持つて居る。

これも自然の條件と莫大な需要とによつて近い將來には非常な發展を見るであらう

最近では葡萄も優秀なのが澤山出來るやうになつた。關東廳、滿鐵共にこの方面には大いに力を入れて居る。

棉の栽培も古くから行はれてゐるが現在は專ら品種の改良に努めてゐる

古來廣汎に栽培されて居るが、在來種は非常に貧弱なのでアメリカの陸地棉の試植を行ひ著々良果を得てゐる。我國にとつて最も大切な資源の一つであるから、其の將來は非常に注目されて居る。

最近歐米の需要にうながされ花卉の種子を輸出するやうになつた

農家の副業として將來は滿洲の野をやさしく彩るであらう

我國の絹紬（ケンチユー）の原糸（柞蠶糸（サクサン））は殆んど全部南滿洲の山地の所產である

我國の絹紬の輸出高は年二百萬圓を超えるが、その糸は長野縣で僅かとれる他全部滿洲から買うのである。

挿入の線畫は、柞蠶飼養地帶の大體の位置を示すもので、この樣に主として滿鐵本線より東側の山地一帶で飼養される。

寛甸、安東、岫巖、蓋平等は柞蠶の主要産地である。

柞蠶は野蠶の一種で主にナラ、カシハ等殼斗科の植物に放養する

蒿柳（キヌヤナギ）にも放養する。蠶はイモムシの大きい様なもので、從つて繭も仲々大きい放養するため相當鳥や蟲の害を蒙る。

飼養人は蠶場の假小屋に住つて蠶の保護と收繭年一回につとめる

收繭は種繭に對して十倍乃至十五倍である。變つてゐるのは柞蠶の種は繭で越年することである。我國の家蠶の如く卵をとつて保存するのと大分趣を異にする。

主要市場は安東と蓋平で、これらの市場では各地から糸を買ひ或は繭から糸を採る。滿洲の柞蠶糸の六十％（千五百萬圓）は我國に向けて輸出される。我國では福井、岐阜、京都等が絹紬の機場である。

第二　卷

牧畜は

日本には牛馬は相當あるが羊は極めて少い。然るに滿洲に於ては羊は勿論のこと豚の如き我國とは桁違ひの數字を示し、牛馬も共に我國を凌駕してゐる。しかし滿洲は頭數に於て相當であるが、質は隨分悪い。舊政權が永い間改良も行はず放任しておいたからである。

近時家畜の改良が盛んになり滿鐵の農事試驗場等が大いに努力してゐる

滿鐵は非常に大規模の試驗場を公主嶺に設け畜産のあらゆる方面の改良を行つてゐる。

毛織物原料の不足する我國にとつて滿洲の羊種改良は殊に重要な事がらである

林產

滿洲の森林面積、三十五萬平方粁（我國のそれよりやゝ少い）。滿洲の立木蓄積、四十二億立方米（我國のそれの一、七倍）

滿洲の森林は膨大な立木を擁し乍ら濫伐と山火事とによつて荒廢しつゝある。更に交通不便のため木材輸送が意の如く行かない。現在の主要採木地は興安嶺一帶、松花江上流の吉林地方、同下流の三姓（サンシン）地方鴨綠江上流等である。この中でも相當盛んなのは吉林と鴨綠江上流の二地方である。

吉林材

松花江上流吉林省奧地から伐り出され、河を下つて吉林で取引されるもの年二十萬瓩位であ

る吉林並に南滿地方の需要に向けてゐる。

鴨綠江材

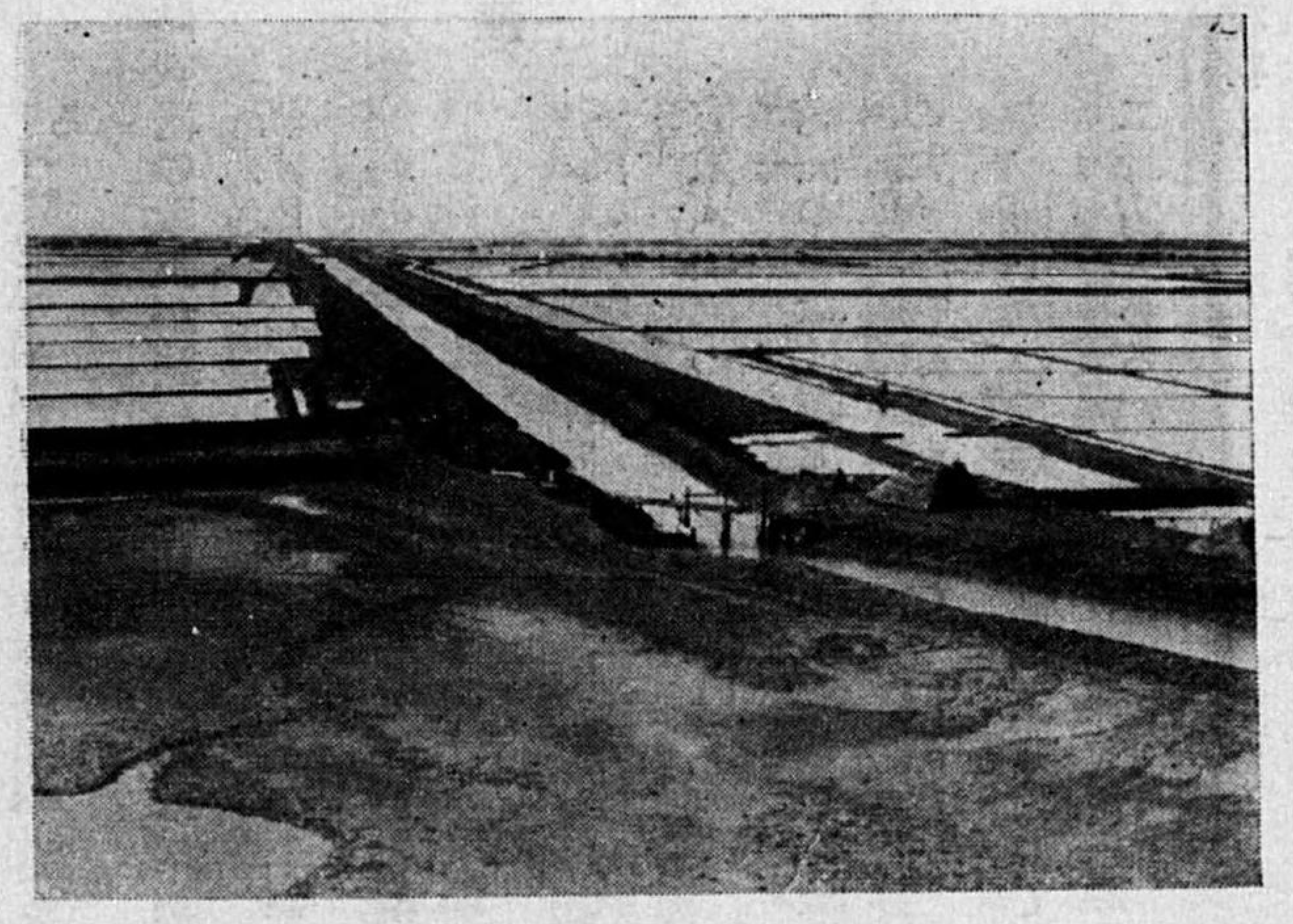
鴨綠江上流右岸即ち長白山脈の東南基部から伐り出す木材で、針葉樹（松の類）を主とし、その下流の安東を市場としてゐる。交通の關係から輸出材は殆ど鴨綠江材に限られてゐる。

年々多額の木材を輸入する我國は將來益々滿洲の森林に援助を求めなければならない

從つてこれの荒廢を極力防がねばならない。

水產では製鹽が最も顯著である

渤海黃海に面した遼東地方では豐富に鹽がとれる。然し滿洲國は鹽を專賣しその輸出を禁じてゐる。



關東州は降雨少く空氣が乾燥して蒸發が旺んなため天日製鹽を行つてゐる

これは關東州貔子窩一帶の鹽田である。處々に白く小さいものが見えるのは鹽である。この樣な鹽田が關東州のところ〴〵にあり、海水を蒸發させて鹽を採つてゐる。粗製鹽を得るには有利な採鹽法で價格も從つて極めて低い。

關東州の鹽田面積七十平方粁、產鹽一ケ年二十萬噸これは殆ど我國曹達工業の需要にむけられてゐる

關東州の鹽が全部我國へ來ても未だ我が需要に對しては不充分な狀態である。關東州の製鹽は更に更に發展すべきである。

鑛產、種類は少いがそれぞれの埋藏量は莫大である

鑛產こそ最も拓かれざる庫である。

黑龍江の沿岸は殊に有名な砂金產地である

然し數多い金砂金の產地も現在では開拓の手を待つ狀態である

鐵

鐵鑛は概して良質ではないが埋藏量三億噸以上と稱せられ甚だ大きい

我國には鐵が足りない。鐵が欲しい。その鐵が滿洲から採れる。原鑛の鐵含有率は充分とはいへないが豊富である。そしてこゝに近代的な製鐵工業が起された。

旺んに活動する二大製鐵所

近く製鋼所をも併設される鞍山製鐵所

貧鑛處理を以て有名なこの大工場は昭和製鋼所と名も改め規模を擴張し大いに活躍せんとしてゐる。

本溪湖製鐵所、低燐銑（兵器用）を生産する

近くの廟兒溝から七十%の富鑛が得られ、石炭石灰石はこの地に採れるので非常に有利である。

鞍山は二十八萬瓲、本溪湖は十二萬瓲の鐵を一ケ年に生産する

熔鑛爐骸炭爐ガス發生爐等製鐵作業の中樞となる爐に用ゐる耐火材料は滿洲各地から得られ殊に煙臺からは非常に優秀な耐火粘土が出る。

製鐵に最も必要な石炭は滿洲鑛產中の首位である

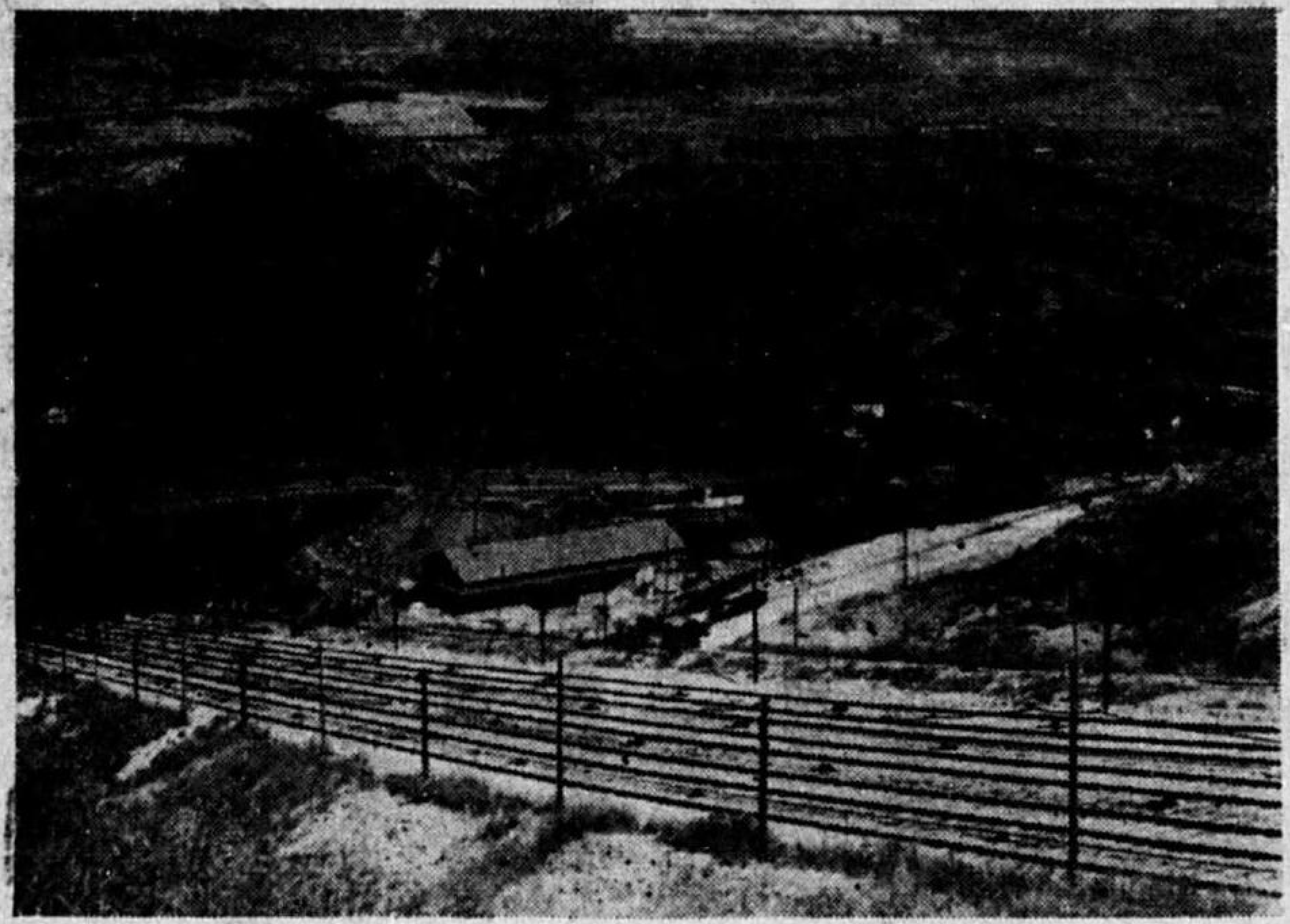
石炭の產地（線書說明）、此の圖で見られる通り滿洲全體から出る。今後もどれだけ開發されるか判らないが、現在のところでは色々の條件から南滿洲が盛んである。

就中撫順炭田は十億瓲を藏して居りその一部は世界に稀な大規模の露天掘を行つてゐる

撫順は六百年の昔に掘り始め、東西十四粁、南北四粁、炭層の厚さ平均四十米、厚いところでは百三十米もある。露天掘には大規模の爆破を行ひ、自動ショベル電車等で採取運搬してゐる。採掘量は一日二萬トン、一ケ年七百五十萬トンである。

滿洲石炭の四十%一ケ年四百萬瓲は輸出される

此の爲めに滿鐵は大連港の對岸に壯大な石炭積出用棧橋を設けた。



積出しに忙しい大連の石炭棧橋

之等の石炭は我國支那南洋等へ向けて送られる。

撫順炭田一帶に覆ふ油母頁岩（オイルセール）

線畫にて石炭油母頁岩を說明す。

石炭を掘るためには是非ともとらなければならない油母頁岩

主要炭層の上を百二十米乃至百七十米の厚さで覆ひ、總量五十四億瓩との推定、世界第一の集約的埋藏で平均六%の油分を含んでゐる。

この岩石からは油が――我國で最も必要としてゐる重油の原油が製成され副產物として硫安パラフイン等が採れる

八十基の撫順式内熱式乾餾爐を以て一日に四千瓩（一ケ年五十萬瓩）のオイルセールを處理調製して、一ケ年に重油五萬四千瓩、硫安一萬八千瓩、粗蠟（パラフイン原料）一萬五千瓩、ピッチコークス五千瓩を得てゐる。近來揮發油（ガソリン）を分離することに成功し、これを市場に出すやうになつた

滿洲は我等より遙に廣大である

そして滿洲は我國にとつて重要な資源を豐富に藏してゐる

滿洲地方篇　全五巻

梗概

滿洲地方篇は滿洲映畫三篇中の第三篇（全五巻）である。本映畫は滿洲の地方的實狀を的確に知らせる目的で昭和七年八月九月撮影した材料及び其他のものを昭和八年初頭の實狀にあわせて編輯したもので主要な内容は左記の通りである。

第一巻　關東州（旅順、大連、金州）
第二巻　滿洲國（營口、鞍山、遼陽、安東、本溪湖、山海關、錦州、打虎山）
第三巻　滿洲國（奉天城内外）
第四巻　滿洲國（奉天滿鐵附屬地、撫順、四平街、公主嶺、新京、寬城子）
第五巻　滿洲國（ハルビン、吉林、鄭家屯、通遼）

第一巻

昭和七年の初秋文部省撮影班が匪賊の出沒少くない中を東奔西走し滿洲の主要地域の撮影を行つた。これはその地方的特徴をうかゞふに足る材料を編輯したものである。

わが關東州

は南が黄海に北が渤海に面し北東が滿洲國に接した長い三角形の地帶で面積は三千四百六十二平方粁、鳥取縣とほゞ同じ位である。旅順に關東廳を置き、大連に港を開き南滿洲鐵道の起點とし鐵道を北東に走らせてゐる。この沿線に金州、普蘭店等の主要な町がある。黄海の沿線を東する金福鐵道は將來此の海岸線沿ひに朝鮮迄通ずる計書であるが現在は州內に止つてゐる。

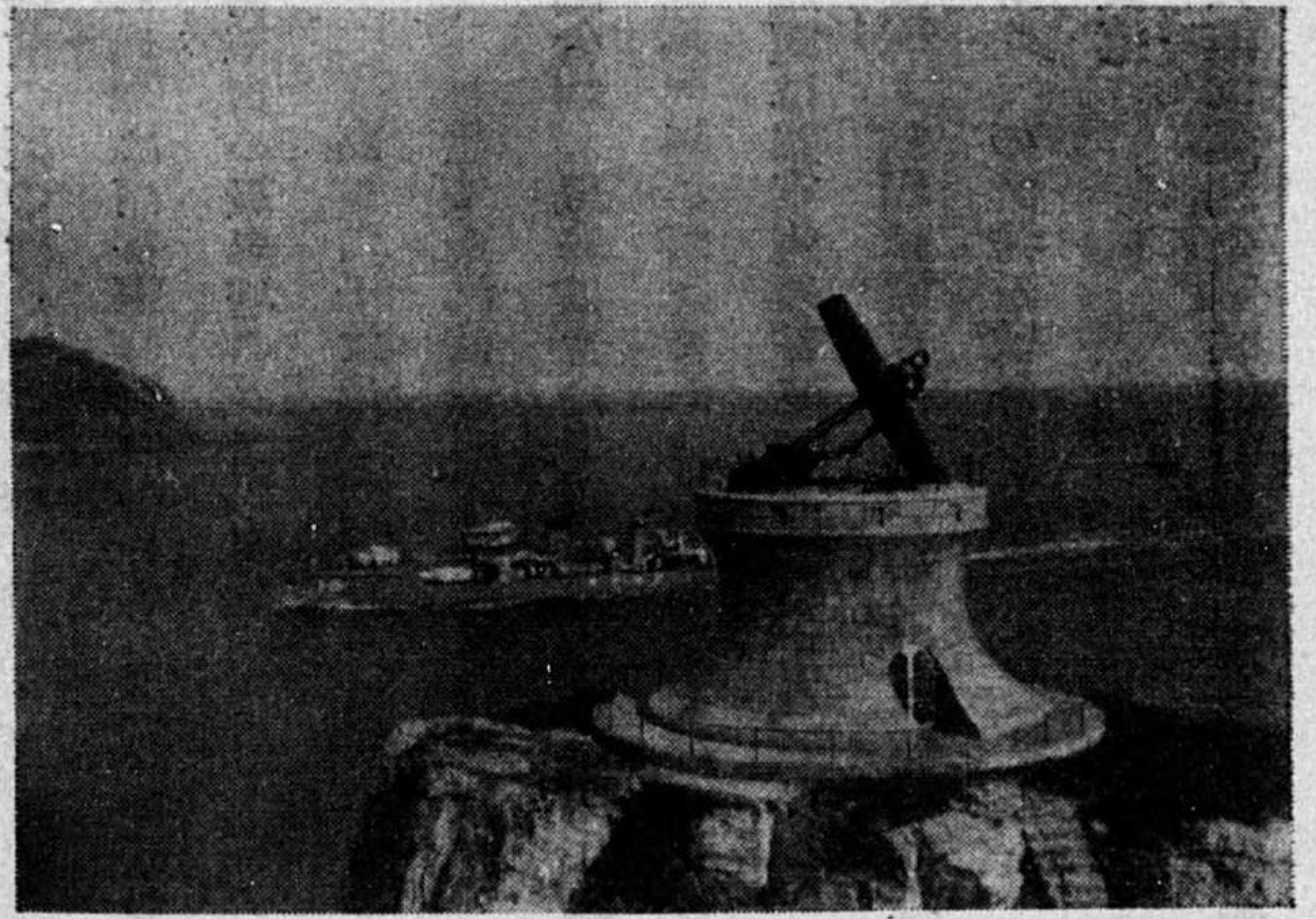
旅順

と言へば日露戰役を思ひ出させる。その初期から中期にかけての海軍の閉塞や乃木軍決死の攻圍等の中に生れた數々の涙ぐましい物語りは今猶我等國民の惱裏に深く印せられてゐる。

當時の激戰を物語る彈痕　東鷄冠山北堡壘

此の堡壘は三十門の砲を備へた永久堡壘でロシアの名將コンドラチエンコ少將はこの堡壘內で我砲彈のため戰死した。慘膽たる戰は五ケ月に亘つて續き終に二條の坑道に八箇の藥室をつくつて大爆破を行つた所である。

爾靈山險豈難攀　男子功名期克難



鐵血覆山山形改　萬人齊仰爾靈山

爾靈山（二〇三高地）

海拔二百三米彼我兩軍の爭奪をくり返すこと五回第三回の總攻擊だけでも兩軍の死傷一萬五千を數へたのを見ても如何に激しかつたかゞ判る。乃木將軍の「鐵血山を覆ひ山形改る」と云はれたことも頷かれる。

港口に建つ我海軍の閉塞記念碑

旅順港口の閉塞は海軍の決死作業で前後三回にわたつて行はれたが、この大碇はその壯烈を記念して港口の巖頭高くかざられたものである。

乃木、ステツセル兩將軍の思ひ出深い水師營會見所

「旅順開城約成りて」の唱歌に親しまれてゐる水師營の民家である。今當時を記念すべく修

理を加へて保存されてゐる。

庭前の棗の樹

は兩將軍の亡き今日もなほよく繁つて昔を語りげである。

白玉山の表忠塔

高さ六十六米、鐵筋コンクリートのこの高塔はこの地攻圍戰の犧牲者の忠烈を傳へるために建てられたものである。

納骨祠　皇國に身命を捧げた陸海の將兵二萬餘の遺骨を納め祀る

毎年四月と十月に招魂祭を行ひ此の地に神去つた英靈を慰める。

旅順は關東州の首都である

旅順は關東州の政治的教育的中心地である。關東廳は關東州滿鐵附屬地内の政務を司り滿鐵の業務を監督してゐる。

大連

大連は滿洲の咽喉に當り商工業の隆盛街衢の整備共に滿洲第一の大都會である

市街はセントラル・システムにより計畫され七ケ所の廣場とこれから放射する山縣道、大山

通等往時を記念する名のついた主要通路を骨として整然とした大市街を形成して居り滿洲國成立の今日益々發展しようとしてゐる。

清楚な住宅地

ロシア統治時代のまゝに遺るロシア町

支那人の群集する小崗子の市場

苦力（クーリー）（支那人勞働者）を收容する碧山莊

南滿洲鐵道株式會社（滿鐵）

我國策遂行機關として活躍してゐる

資本金八億圓（昭和八年末增資後）半官半民の殖民會社である。その事業の廣汎なことは勿論のことであるがその使命の重大な事は他會社に比類を見ないのである。

東洋一と稱せられる大連病院

大規模の火力發電所

水力の貧弱な滿洲ではその反對に豐富な石炭を使つて各地とも火力發電を行つてゐる。

その設備の新鋭を誇る滿鐵の汽車工場

この度滿洲に活躍した我裝甲列車はこの工場で製作されたものであるこの事である。

滿洲工業の王座を占める油房の大部分は大連にある

油房　大豆から油と豆粕とを造る工場

油は工業原料こして多くヨーロッパへ、豆粕は肥料其の他の用途の原料として多く我國へ輸出される。

滿鐵の起點　大連驛

金州の南山

日露戰役の初頭明治三十七年五月二十六日我精鋭が陸海呼應して僅か一日で陷落させた要塞のあとである。此の戰の我軍の死傷は四千四百、全員の九分の一に當り、鬪ひが如何に激烈であつたかゞ分かる。この丘の北に金州城がある。

金州城

は周圍三粁半、明時代の築城で支那式城市の標本的なものである。城内は昔ながらの平和な氣分が漂つてゐる。

我統治のもとに支那人も平和な日を送つてゐる

戰亂の打ち續いた舊東三省現に兵亂の渦中にある支那本土等から難を避けて此の地に移住した人々は金州を滿洲の樂土こ云つてゐるさうである。

平和な昔の支那の姿を此の地に見出して我等は今更の如く皇威の普く深いのに心打たれるものがある。滿洲國内にもこの樣な平和な天地が年と共に建てられて行くであらう。

第二卷

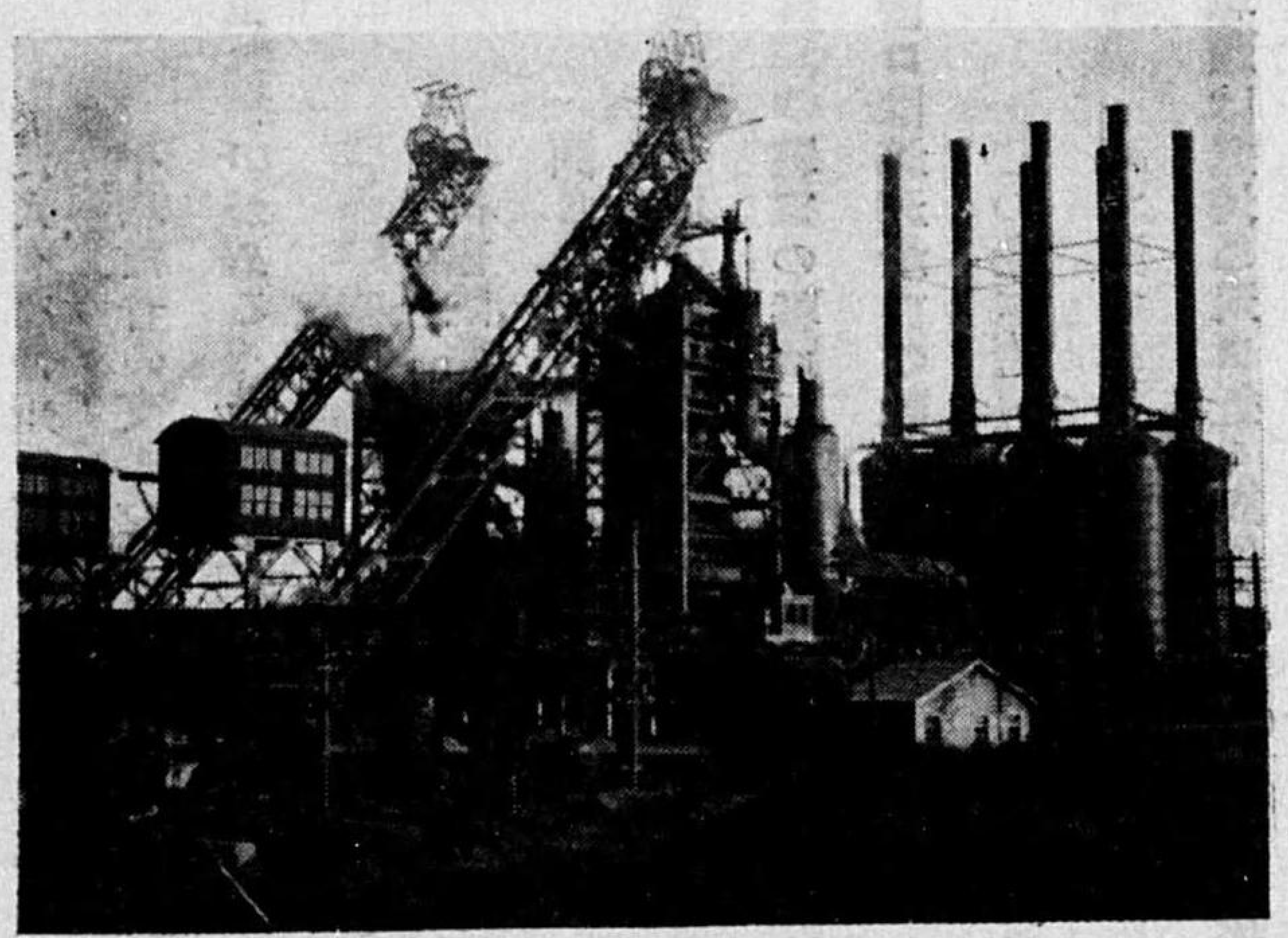
（綫畫説明）遼河、渤海、黃海の間に突出した遼東半島の頸部は中立地帶こ稱し關東州と滿洲この緩衝地帶になつて居り武裝した滿洲軍憲は出入しないことになつてゐる。大石橋は營口線の分岐點で營口に近く、更に北すれば製鐵所を以て聞えた鞍山がある。古都であり日露戰役の戰蹟でもある。遼陽も此の沿線にある。

營口は滿洲最古の開港場である

この港は遼河の水運によつて南滿洲平野の物資を集め山東上海方面この交易により發展して來た港である。

埠頭は遼河の河口近く設けられ特産物の輸出が盛である

主要輸出品は豆粕（當港輸出總額の約三分の一）大豆、豆油、雜穀、石炭等である。



我製鐵工業に重要な關係をもつ鞍山製鐵所

滿鐵の經營事業の一つである當所は大正八年の創業であるが最近昭和製鋼所に合併せられ更に大きく飛躍せむとしてゐる。製鐵原料を近くに得られる事、獨特の貧礦處理法等幾多の誇をもつてゐる。

銑鐵製産高一ケ年二十八萬瓲

製鋼所設置後の鞍山がどれだけの能力を發揮するか國民の期待は大きい。

鐵のたぎる町に近く仙境千山が靜かに横たはつてゐる

秦漢以來數千年の歴史ある古都遼陽

遼陽は久しきにわたり滿洲の政治的中心地であり北支那と朝鮮との交通の要地であつた。從つて滿洲では歴史的に最も有名で史蹟に富んでゐる。

千年の昔遼の文化を物語る廣祐寺の白塔

寺亡び僧房は失せて跡形もないがこの佛塔のみ獨り南滿洲の野に聳え立つてゐる。

高さ七十五米　滿洲第一の高塔である

土の壇の上に灰色の煉瓦で築き上げられ下部の八面にそれぞれ佛像をおさめてゐる。現在は剝げ落ちてゐるが全體を漆喰で塗つてあつたので俗に白塔と呼ばれて來た。滿洲國の郵便切手に出てゐる繪はこの塔である。

輪奐古へをおもはしめる關帝廟

關帝廟は關羽を祀る儒教の祠で老爺廟ともいはれ滿洲到る所にある。遼陽の關帝廟は元時代の創建で、滿洲の關帝廟の建物中最古のもので、建物の配置の整然たる細部の複雜精緻なると共に比類を見ないが保存惡く修理屆かず荒廢甚だしい。この煉瓦造りの影壁は長さ四米比較的完全に保存され此の種のものとして傑作である。

昔ながらの建物をつかふ遼陽縣廳

遼陽は古い町である。何處となく古への香がする此の縣廳もその一つで古雅な支那建築であ

る。

滿洲人の女學校

建物は矢張り古風であるが生徒はなか／＼近代風の少女達である。近頃は滿洲語の勉强で一生懸命である。この女學生達の

寄宿舍

は此の樣に質素なもので彼等滿洲人の日常生活の片鱗を覗ふことが出來る。

太子河

は遼陽城の東を北に流れ西に折れて遼河に合する大河である。古風な渡船が半日がゝりで人や車を渡らせてゐる、但し馬は水を泳がして渡すことにしてゐる。太子河を渡つて更に東北數粁のところに東京城がある。

三百年の昔清の太祖が都した東京城の址

ほんの一寸の間であつたが宮殿も經營されたと云ふ事である。今日では宮殿は址かたもなく城壁と城門の一部が殘つてゐるに過ぎない。

遼陽郊外の東京陵　當時の親王の墓

これは東京城の北にある。この附近には當時の貴人の墓が多い。

（線畫）安奉線とは安東と奉天との間を繫ぐ滿鐵の支線である。本溪湖はその中間にある最も大きい町である。

朝鮮から來た人々

朝鮮へ行く人々

安東は鴨綠江を挾んで新義州と相對し我朝鮮との國境に當つてゐる

國境らしい通行人の身體檢査

日滿兩國を結ぶ開閉橋

有名な鴨綠江の鐵橋である。晝間時を定めて船舶のために通路をあける

唄に名高い鴨綠江の筏

上流長白山脈の裾から伐り出された材木はこうして河を下り安東で取引される。新義州でも朝鮮奧地の木材が取引されるので此處兩岸は木の香に充ちてゐる。

山峽の景趣に富む安奉沿線

本幹山脈を中斷するこの鐵道は自ら山峽の風趣豐かな所を走る。新綠の候、紅葉の季節、都

人士をして杖を引かしむる。

本溪湖煤鐵公司　兵器製造に必要な低燐銑の生産で名高い

日滿合辦の銑と石炭の會社である。我海軍に提供する低燐銑がこゝの工場の自慢である。

（線畫）安東から奉天に向ふ鐵道と丁度對稱して奉山線がある。曾て北寧鐵道の一部であつたもので奉天山海關の間を往復してゐる。山海關は滿洲と支那との國境に當る町である。我國は義和團條約に基いて若干の守備兵を置き當時の占領地と鐵道を守備してゐる。

萬里長城は山海關の海邊から遙かに三千粁（七百五十里）支那甘肅省の嘉峪關に及んでゐる

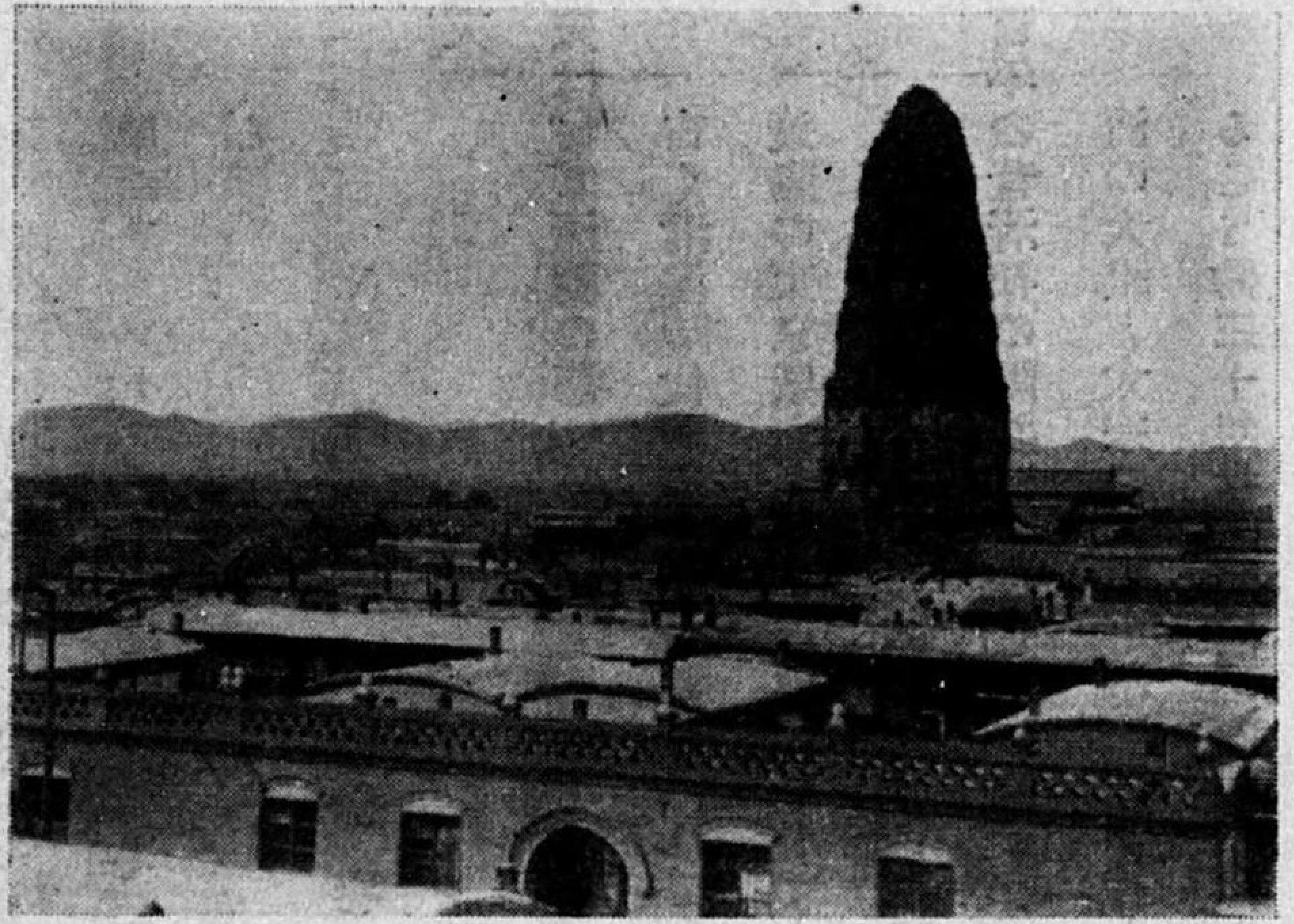
世界の驚異の一つである長城、國民の膏血を以て數十年の永きに亙り增建修築されて來たが、守るに人を得ず屢々その本土を北方の侵入に委ねて來た。

夷狄に備へ風雪に耐へて數千年

長城は嚴として今に存するも國內亂れては何の防壁ぞ、むしろ內亂の滿洲に波及するを防ぐの具に等しい。幸ひ滿洲國の創立を見て

今滿洲と支那との境

として大いに役立つ事となつた。　天下第一關　の扁額は明の蕭顯の書である。



國境の町　山海關

（線畫）安東、奉山線、山海關から北すれば張學良が築港を計劃した胡盧島、營口線の分岐點—溝帮子、打通線の起點—打虎山、遼河の邊りに在る新民等があり何れも滿洲事變に聞き覺えのあるこの沿線の主要驛である。此の鐵道は遼河で拓けた。南滿平野を東北に走つて奉天に入る。錦州はこの中途にある最大の城市である。

熱河省との交通の要衝にある錦州

戰はずして退いた支那兵は遂にそのまゝ錦州に歸れなくなつてしまつた。崩れ落ちた古塔の向ふに彼等が一時身を潛めた熱河省との境の山々の續きが見える。

沙漠を走る打通線の起點　打虎山（大虎山）

こゝは沙漠を北へ走る打通線の分れる所である。停車時間の長い驛ではこうした色々の食物屋がプラットフォームに店を列べ、我々には一寸手の出ない様な食物を聲高に呼び賣つてゐる。

第三巻

奉天

奉天は曾て清朝の都であつた

古く渤海時代から史上にあらはれてゐたが滿洲全體にとつて重要な土地となつたのは清朝が遼陽の東京城から都を此處に移してからである。この時、現在の様な大規模の城を築いたのであつて、今も城内の其所此所に當時の趣が殘つてゐる。

三百年の昔清初の隆盛を想はせる宮闕

清の太祖と太宗の宮殿で奉天城の略々中心にあり當時の儘遺つてゐる。清朝は此處に政を執ること約三十年世祖順治帝の代に都を北京に遷した。

崇政殿（正殿）

太祖太宗が政を聽かれた所である。前庭の左にあるは嘉量といひ量器の規準を爲すもの、右の日晷は日時計である。崇政殿の正面は

大理石の階（キザハシ）

で中央の部分には龍の高肉彫がしてある。建物の所々には見事な彫刻の瓦が嵌込んであり色彩の華麗を加へて實に綺麗である。殿内の

玉座

は曾て皇帝の用ひられたもので其の周圍の裝飾と共に當時の工藝技術の粹を集めてゐる。崇政殿の後に鳳凰樓と云ふ三層の樓閣がありこれから内が皇居になつてゐた。

清寧宮（便殿）

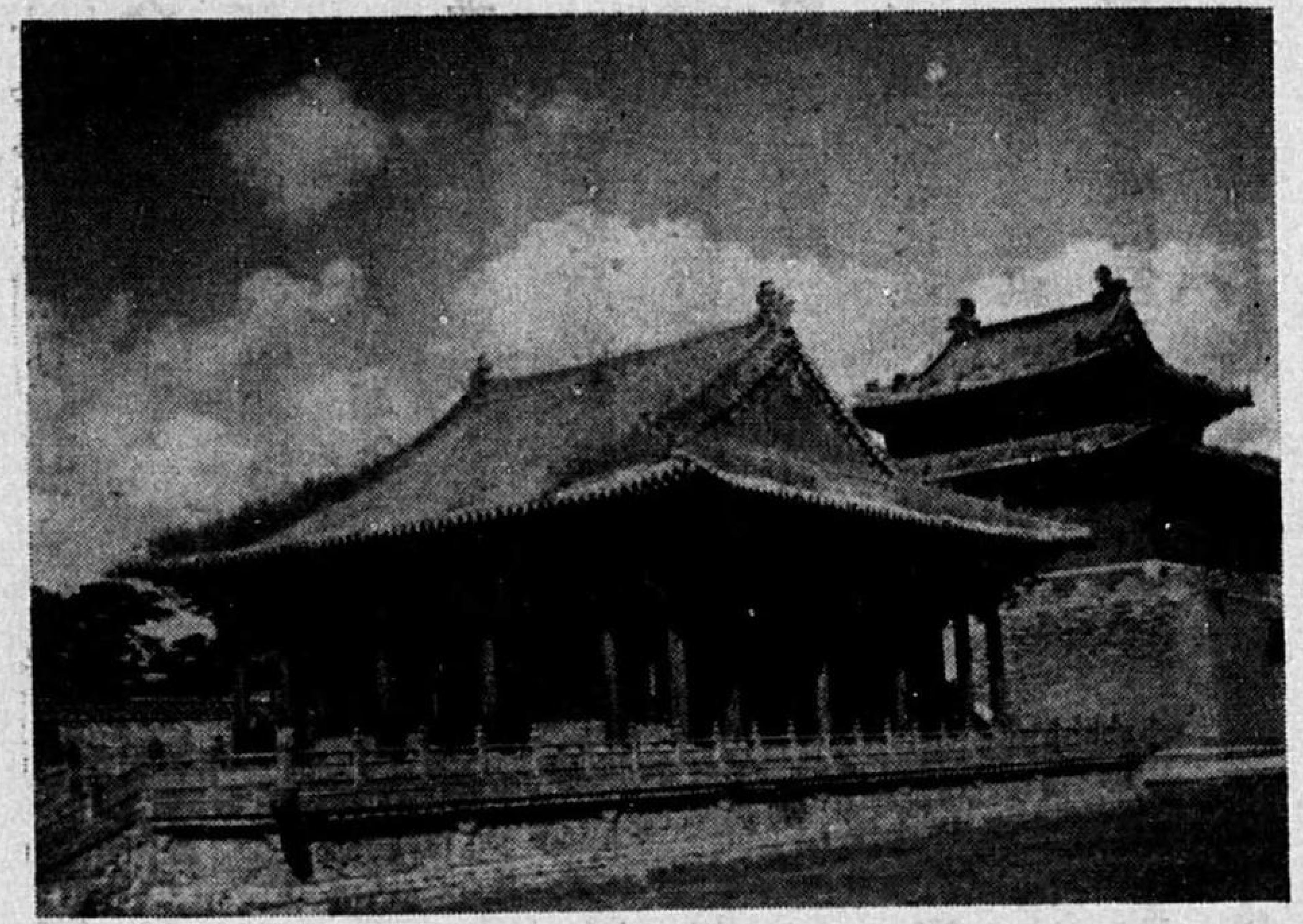
之等は純粹の支那建築で全體として規模は大きくないが皇居政廳共に具はり立派なものである。太祖太宗は共に奉天で歿し太祖は奉天の東陵に太宗は同じく北の陵に葬られた。

城北松の綠に包まれて清の太宗の北陵がある。

太宗文皇帝の陵である。清朝が勃興の途にある頃のもので其の力強い氣分が此陵の建物や彫刻に現はれてゐる。

境域の周圍八粁今だに壯大な規模を保つてゐる

滿洲國執政溥儀氏の祖宗の陵であるので今では特に鄭重に扱はれてゐる。



隆恩殿（拜殿）

寢　陵

清朝に榮えた喇嘛教の寺

西域に興つた一種の佛教であるが、清朝が蒙古西藏等を懷柔するため非常にこの宗派に保護を加へたので支那一圓に擴つた。滿洲には此種の寺が特に多い。

蒙古人の喇嘛僧

榮華ありし日をしのぶ張學良邸

「天理人心」眞に名言である。爲政者の常に心すべき言葉ではなからうか。天理にそむき人心を裏切つた彼の邸内にこの扁額を發見する事はまことに皮肉である。

滿洲事變當初の激戰を想はせる北大營

昭和六年九月十八日夜柳條溝で支那兵によつて起された不祥事は遂に滿洲事變の様な大事の誘因となつた。その當初極めて少數の兵を以て比較にならない程多數の支那兵を驅逐した我將兵の悲壯な決心の程がこの新戰蹟を見る者の胸を打つ。

滿洲の隆盛はこの市街にも見られる

曾て滿洲の政治的中心として榮えて來た奉天は新國家成立と共に政治的重要さを新京にゆづつて身輕になり南滿の交通經濟の中心として活躍してゐる。

城内の四平街——奉天の銀座

百貨店

之等の店舖で賣る品物の多くは日本品である。

店舖を飾る風變りな看板

兩替屋

錢の形をしたものを下げてゐる。

貴金屬商

壺の形をしたものを下げてゐる。

藥　屋

これは膏藥を現はしたものである。

菓子屋

うどん屋

うどんを現はすものである。

呉服屋

概して文字の讀めない人の多い滿洲ではこういふ看板が便利がられてゐる。

城外の煉瓦製造工場　滿洲では煉瓦は重要な建築材料である

奉天に限らず大きい町の附近には大概この種の工場がある。

中流以下の人々を顧客とする露天市場

救兒事業で有名な同善堂

世界的に有名なものである。貧民救濟、施療、救兒、養老、授産等の事業を行ふ民間の施設

である。殊に逃げ込んだ娼婦の教育、拾兒の收容等は他に見られない。

捨てられた乳兒は

此處で養はれ長ずれば學を修めしめ職を授けて一人前の社會人に仕立てゝやる。

各國領事館のある商埠地

繁華な新市街（滿鐵附屬地）

これは滿鐵の奉天驛で南滿交通の中心をなし附屬地否全奉天の玄關である。

第　四　巻

日露戰役記念碑

日露戰役陸戰の雌雄を決する奉天大會戰は兩軍の兵六十萬死傷十六萬當時未曾有の大激戰であつた。此戰により敵は再び立つ能はざる狀態になつてしまつたのである。此大廣場の純白のオベリスクが當時を記念してゐる。この地も今日では文化の一中心となつて平和時の使命を果しつゝあるが、その內滿洲醫科大學は

滿洲人の學生

も收容し日滿協力による人道的使命の遂行に盡してゐる。此他附屬地には各種の教育機關が備はつて居り

滿洲人の學童

も我學童の如く嬉々として學業に日を送つてゐる。

元氣な在滿の我小國民

は其の先輩の英靈に護られて安らかに未來ある身神の鍛錬に努めてゐる。

永へに在滿の同胞を護る忠靈塔

は此附近の戰に亡せた二萬三千の將兵の靈灰を祀るもので正に全滿洲平野の鎭守である。

撫順炭田　奉天を東に去る六十粁露天堀を以て世界に有名である

露天堀では黑色火藥を用ひ炭層を緩めてから自働ショベルで採取する。此の様な作業は露天坑內隨所に見られる。

鑛區六十平方粁　埋藏量十億瓲

一ケ年採炭量　七百五十萬瓲

炭田を覆ふ油母頁岩（オイルセール）から油を採る頁岩油工場

撫順のオイルセール工業として世界の注目をひいてゐるものである。岩石から油を採ると云ふ驚異的な仕事を大規模に行つてゐる。

奉天

から更に北して米の產地として有名な鐵嶺、大豆の大市場であるところの開原を過ぎ、四平街に至り四洮鐵道と連絡してゐる。

四平街は四洮鐵道の起點で北滿との交通の要地である

公主嶺は南滿洲を分つ分水嶺にある町である。

滿洲農產の改良試作に努力する滿鐵の農事試驗場

一・五平方粁（四十四萬坪）我國に比類のない大規模のもので農作物の試驗栽培と家畜飼料即ち牧草等の試植、放牧等が穀地の大部分を占めてゐる。其の研究試驗の科目に至つては農產畜產の全般にわたり非常に整備してゐる。

新京

滿鐵本線の終點である。

輝かしい新興滿洲國の首府新京

東洋の一角に近世に稀な輝かしい事が起つた。それは滿洲國の創建である。在滿三千數百萬の民衆の要望に依り昭和七年三月九日建國式を擧げ、舊政權の惡政から完全に脫した潑剌た

る新國家は都も國の中心たる長春に移し新京と號した。

執政府

滿洲國元首である溥儀執政が政務をとる所である。國家草創の折から舊來の建物を其儘用ひてゐる。

執政溥儀氏

曾て清朝十二代の帝位に即いた方で滿洲の獨立するや一平民として萬民から推されて執政となられた。

新政の創業に努力する要路の人々

鄭孝胥氏（テイコウシヨ）

曾て清朝の高官で民國革命の際下野爾來溥儀氏の擁立に盡力して來た人で滿洲國最初の國務總

理に任命された。

謝介石氏

臺灣の人である。明治大學を卒業し永らく滿洲の教育方面に盡し溥儀氏の顧問となり政府成立後外交總長に任ぜられた。

馮涵清氏（ヒヨウカンセイ）

司法總長である。

丁鑑修氏

交通總長である。この人は早稻田大學出身で滿洲の教育界實業界に大いに盡して來た。

趙欣伯氏（チヨウキンパク）

立法院長である。明治大學出身我國の法學博士の學位を有する偉材で事變以來特に日滿兩國の聯絡に努力されて來た。

王靜修氏

軍政總長張景惠氏を補けて次長の任にある。

駒井德三氏

事變後國家創建まで華々しい活躍をなし今参議府に列せられてゐる。この他にも重要な人々があるが撮影の機會を得ず此の映畫に編入出來なかつたのは殘念である。

新京の南にある南嶺の新戰蹟

滿洲國今日の隆運を見る時その機運をつくつた滿洲事變に我同胞を數多犧牲にしてゐる事を思はねばならない。殊に南嶺は幾多涙ぐましい挿話を殘した苦戰の蹟である。

新京は滿鐵の終點で北滿洲鐵道（中東鐵道）吉長吉敦鐵道等と連絡してゐる

敦圖鐵道の開通した今日新京の交通上の地位は一段と高まつた。

吉長吉敦鐵道

之は吉林省の奥深く吉林敦化に至る鐵道である。敦化から更に朝鮮へ向つて敦圖鐵道がのびてゐる。（線畫説明）

北滿洲鐵道

舊東支鐵道である。又中東鐵道とも呼ばれた。

南部線東部線西部線に分れ新京は南部線と連絡してゐる。

滿鐵と北滿洲鐵道とは線路の幅が異つてゐる

滿鐵百四十三・五一糎（四呎八吋五）北滿百五十二・四糎（五呎）

旅客も貨物も一切乘り替へ積み替へる。

北滿洲鐵道で南下した大豆の積替へ

北滿は大豆の穀倉である。我々の想像もつかない程大量の大豆が此處に運ばれ積み替へられ南下する。

北滿洲鐵道の眞の終點は寛城子である

北滿洲鐵道は滿鐵と連絡の爲め新京まで線を延ばしてゐるのである。（線畫説明）

寛城寺郊外のロシア人街

ロシア人の小學校

北滿洲鐵道の從業員を主とし小さなロシア風の田舍町を形造つてゐる。

第五卷

哈爾賓（ハルビン）

ロシア帝國が東洋に爪をのばし出した時ハルビンは其の策源地となつた。その後北滿洲鐵道

の中心となり急激な發展をした。

ハルビンは滿洲第一の大都會で北滿交通經濟の中心地である

ロシアが最初に建設した町なのでロシア氣分が濃厚で滿洲の諸都市中異彩あるものである。

ロシア風の教會堂

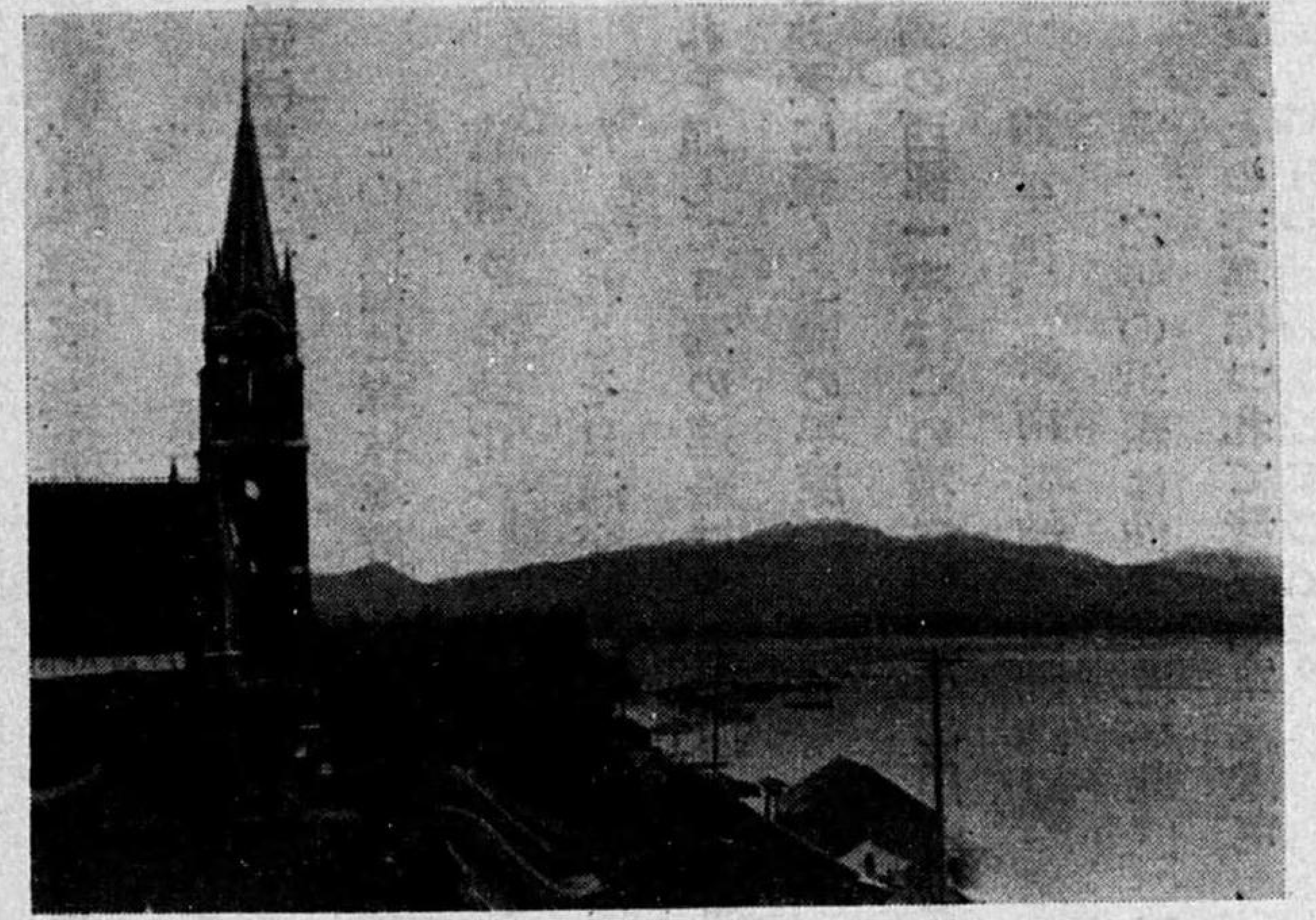
殷賑を極める傳家甸（フーチャテン）

此處は支那人の建設した一角であつて商業の盛んな所である。

ハルビンの北を流れる松花江

ハルビンを中心として北滿洲鐵道の三線が放出してゐる。西部線には有名な興安嶺山脈が横はつてゐて此の鐵道を苦しめてゐる。東西の國境に達した所にそれぞれポグラニチナヤ、滿洲里の町がある。此の東西に走る線が北滿洲鐵道中最も重要なものでロシアは之に依つて日本海に面した沿海州地方と連絡してゐる。西部線には興安省政府のあるハイラルあり、黑龍江政府のあるチチハルあり又チチハル附近から南下する洮昂鐵道には殖民都市洮南があつて何れも其の地方の中心をなしてゐる。目を東部山岳地方に轉じてみる。

吉林



吉林省は清朝發祥の地であり更に古くは渤海、遼、金等の領域であつたので、之等の史蹟に富んでゐる。吉林はその省政府の置かれた地で古くから開けた都會である。

吉林は松花江の上流に臨み風光明媚な都である

ハルビンを流れる松花江の上流左岸にあつて人も景色も穩かで水も亦澄んで游魚を見る事が出來る程である。人呼んで滿洲の京都と云ふが故ある事である。

河沿ひの町をうづめる薪

吉林は山から出る色々の貨物の集散地である。松花江をゆつたりと下つて來た薪や材木が此の河岸を賑はす。

上流より運ばれた木材

上流より下つて來た筏、十數頭の馬を鞭一本で自由に動かす馬夫の鈍重な聲、微かにうるほふ河岸の空氣をふるはして鋸の音が響いて來る。吉林はのんびりとした都である。

鐵道は吉林から更に東　敦化に伸び

この沿線は森林地帶である。今なほ採木が盛である。

吉林から敦化へ、敦化から更に日本海に面した朝鮮へ向つて間島地方を貫く鐵道が完成した。これこそ日滿交通上の劃期的な發展である。

これを通して日滿の連絡は更に緊縮の度を加へる

漂渺天に續く未開の平原

滿洲の西部一帶はこの樣な蒙古の平原である

四平街、洮南を結ぶ四洮鐵道の途中に鄭家屯があつて、通遼への支線が此處から岐れてゐる。之等の沿線は沙漠に近い狀態の所が多い。

蒙古人との交易につれて發展した鄭家屯

支那人の殖民都市である。遼河の水運の終點となつて居り、鐵道が通じた頃はなか〱發展し

たものであるが之より奧の洮南、通遼等の開けた今日一寸停滯の形である。現在は此の方面の中繼市場になつてゐる。

蒙古語の看板

此の附近から西は古來蒙古と稱した地方である。蒙古人が多く住つてゐるので自然蒙古語の看板も必要なのである。

蒙古人

取引の爲めに町に出て來た蒙古人である。素朴な其の風貌に彼等の生活が窺はれる。

たそがれる街

鄭家屯の郊外にそびえる鄂博（オボ）山

鄂博（オボ）　蒙古王の領界を示す石塚

西に四粁の平原中にある二十五米ばかりの丘である。

此のあたりに來ると駱駝が見られる。

駱駝は平原の大切な交通機關である

ねばり強い體力を持つた駱駝はこういう地方では人や物を運搬するのに最も便利である。

朔風　吹き流る平原

を更に西に進むと滿洲平野はます〳〵沙漠的特色が濃厚になつて來る。

砂と土とにまみれた沙漠の町　通遼

は熱河省の境に近く鄭通線と打通線の接續する所である、パインタラとも呼ばれ熱河省北部との交通の要路に當つてゐるので此の方面の畜産の集散地をなしてゐる。

蒙古人の信仰をあつめる莫林(モリン)廟

は通遼の西四十粁餘の沙漠中にある。

西藏風の變つた建物で我々の眼には奇異なものに見える。數百人の僧侶が住つてゐて滿洲に於けるこの種の寺廟のうち最も盛んなものゝ一つである。

喇嘛教の佛壇

信仰に生きる蒙古人

陰暦の四月十八日と七月十五日に此の廟の大祭がある。こんな沙漠のなかにこんなに澤山の人がゐるのかと思ふ程多くの人々が集つて來る。

蒙古人の生活は喇嘛教と牧畜であるといつても良い程彼等の信仰は熱烈である。

土と草との平原

限りない富源を埋めて…………

富源の開發を待つ處女地

この滿洲の大地に眠る我將兵數萬の英靈を念ひまた夙に不毛の地を拓いて來た我同胞の遺業を思ふ時

我等日本國民はひとしほ滿洲の開發と日滿の共榮とに手を藉さずには居られやうか

——終——

英國に於ける教育映畫の運動

——教育教化映畫委員會設立經過——

本稿は嘗て本誌第十號所載の「映畫問題とその國家的對策」と同様、一九三二年ロンドンに於て出版せられた"The Film in National Life."の一部分を譯出したものである。

原書は、既に本誌第十號に記述せる如く「教育教化映畫委員會」(The Commission on Educational and Cultural Films)に於て映畫の製作、選擇、配給及び利用に關し、國家的立場より調査研究をなし、その結果に基き之が對策施設に就て意見を述べた「報告書」であつて、現下の我が國教育映畫界にとつて極めて不喚多き文献である。而して本稿は右報告書の第一章を抄譯したもので、原文にあつては、參照事項等も相當挿入せられ、他章と關聯せしむるやうに記述されてあるが、本稿の抄譯にあたつては、便宜上、出來得る限りこれのみにて獨立したる一篇となすべく記述に努めた。

目次

一、教育教化映畫委員會の起源
二、委員會の委託事項
三、委員會と財政
四、事業組織化の必要
五、委員會現在の仕事
六、報告發表の必要
七、初期の研究
八、主要なる研究
九、社會道德國民會議—「教育と映畫」—ロンドン市參事會の調査—帝國教育會議
一〇、初期の研究の結果—學務局長の意見—ロンドン市參事會教育委員會の報告
一一、情況の變化—學務局長の意見—小學校—英國成人教育協會委員會—大英協會協同委員會

一二、最近の報告書―「歴史教授上の映畫の價値」―「學校に於る有音映畫」
一三、スコットランド―檢閲―婦人國民會議―母の會―學校兒童と映畫
一四、映畫と官省―植民地映畫委員會報告書
一五、映畫勢力の增大
一六、知識及娛樂の機械的補助物
一七、外國に於る映畫統制
一八、映畫製作國の聲價
一九、建設的な批判の必要
二〇、國民批判力の向上
二一、釋義

一、教育教化映畫委員會の起源

私設團體である「教育教化映畫委員會」は、その數、百に及ぶ教育團體及科學團體の集つた會議に於て、滿場一致の贊成の下に一九二九年十一月設立せられたものである。同會議の參集者はいづれも、映畫は既に有力なる一勢力となり、廣い意味に於て、組織的に教育目的に使用さるべきものであり、又他の國々に於ては、無聲、有音兩種の映畫を、視覺及聽覺に訴へる教育の一道具として、娛樂の一手段として、又藝術の一形式として、愼重に取扱つてゐる事を自覺してゐたのである。英國に於ては、一二の映畫製作者或は一部の團體で、進歩的な、開拓的な仕事を爲した事もあつたが、統一的に、映畫問題を考究し、或は總ての要因を網羅する解決策を見出すと云ふが如き仕事が、一個の代表的な團體に依つて行はれた事は未だ曾てなかつたのである。

二、委員會の委託事項

委員會の仕事として委託された事項は多くあるが、その三大要項は次の如きものである。

「科學、歴史、及教育關係の團體を代表し本會議に參集したる者は、次の如き目的及方法を以て、代表的な、權威ある調査及勸奬委員會が設立さるべきを希望す。

(イ)記錄としては勿論、教育教化の目的の爲のフイルム使用(活動寫眞及同樣な可視及び可聽

性の裝置）の促進及普及を圖るべき方法を考慮す。

（ロ）民衆を目標とする批判及報告に依り、教育及教化事業に從ふ人々の討議に依り、或は映畵製作者と協力して映畵を試作することに依り、一般民衆の映畵觀賞標準の向上を圖る方法を考慮す。

（ハ）上述の如き目的を有する中心的な常設機關設置は望まれ、又實現出來るものであるかどうかと云ふ事を考慮する。………

之等の機能は、之を約言すれば、映畵の製作、選擇、配給、及びフィルムの利用等に關する報告と云ふ事が出來る。

三、委員會と財政

委員會は仕事を始むるに當つて、官省の多くから代表者を派遣せられ懇篤な援助を受け、又英國産業聯盟映畵部から二名の有力な代表を派遣される他、一般的にも種々援助を受けたが、資金は全然之を持たなかつたのである。一九三〇年六月「カーネギー大英帝國財團」評議員會は、一ケ年七五〇磅づゝ二ケ年に亘り委員會に對し補助金を與へる事とした。後日、更に八五〇磅を追加し、なほ最高一、三五〇磅まで補助することを最近約した。又一般に訴へた結果、地方の教育當局、或

は委員會に關係を有する諸團體からも小額ではあるが寄金が寄せられた。之等の援助に依つて、委員會は常任委員を任命し、事務所を設ける事が出來た。又四部の報告書を出版した。

四、事業組織化の必要

委員會はその仕事を始めた時から研究調査事業には、組織的、指導的努力の最も必要なる事を感じてゐた。個々別々の研究は既に行はれ、時に貴重なるものもそれ等の中にあつたが、組織的、指導的努力を缺いてゐた爲に、從つてその效果は比較的少かつたのである。共通の映畵對策を考慮する爲、政府當局、大學、學術團體、教育團體、産業團體、社會團體、地方教育當事者等が、英國産業聯盟映畵部代表と共に一堂に會したのは、この委員會が設立せられた時の會合が初めてゞある。委員會の爲すべき仕事は尚多く殘つてゐる。然し、委員會は英國成人教育協會、婦人國民協會、大英協會、教員聯盟の如き團體の映畵關係の事業に對する連絡機關となり、その努力は小なりといへ相當の仕事を遂行して來た。委員會は、現在のまゝの形では恒久的なものとは成り得ない。しかし、若しそれが、我々の希望するが如き機關が、英國に設置されるまでの開拓的な仕事を果したとすれば、委員會は十分その役目を爲し遂げたものと云つてよいであらう。

五、委員會現在の仕事

種々觀察を行つた結果、英國に於て、焦眉の急に迫れる國民としての必要は、實に中心的な常設機關の存在である事を我々は悟つたのである。その機關と云ふのは、映畫問題を博く觀察する能力、各方面に亘る專門的知識の掌握、映畫の能力を十分に知る人々の援助、これ等のことから發生する直接的な或る種の勢力を有するものである。我々は、當初から、映畫に對して積極的な勢力を及ぼすが如き機關の必要を悟つてゐたのであるが、我が委員會の背後に、確固たる輿論と組織的な企業要素を我々は持つてゐると信じ、又我々の活動に對して、權威ある確信ある存在理由を鮮明し得るまでは、行動をつゝしんだのである。しかし、今日まで仕事をやつて來た經驗の結果、我々は確信を持つに到つた。事實我が委員會は、映畫に關心を持つ諸團體、各官省、地方教育當事者、教育團體からも又映畫製作者側からも大いに歡迎せられた。その結果、我々が希望する常設的機關となつてしまつた如くに、働く事を我が委員會は要求せられ、最初の目的たる報告書の準備すら阻げられてしまつた。しかしながら、これは我々の意圖する處を最も力強く是認したるものと思ふ。

映畫製作者は、教育團體、科學團體が、この新しい力の發達に興味を持つ事を歡迎し、その助言を獲てその發達に努めんと切望してゐると確信す。我々の爲す勸奬も、映畫業者の援助なくしては單なる抽象的興味以外に何物も持ち得ないのである。

六、報告發表の必要

諸種の理由から、當初我々は、六月に至つて報告を發表する意圖であつた。又國民映畫協會設立に要する資金を政府或は國民に訴へる企圖を持つてゐた。しかるに今や國家非常時に際會し、この時に當つて我が報告書は出版されんとしてゐる。この場合報告を發表して國民に訴へたならば、我々はその事業遂行上困難に遭遇するのではないかと惧れた。しかし又、若し責任ある機關によつて活動を開始せずば、教育及教化の器具としての映畫の發達が、間違つたものゝ手に委ねられてしまつて、この新しい力が、我々に害を與ふる物になつてしまふ危險もあつた。こゝに於て、我々は時の不利なる事を自覺しつゝも、若し一時的便法を以て甘んずるならば、少くとも我々の企圖する計畫に對して、承認を得る事は出來ると云ふ希望を持つて進んだのである。我が委員會は、必要があれば引續いて映畫協會としての或る種の仕事を爲す準備は持つてゐる。

七、初期の研究

我々は、その述ぶる意見に對して、我々の獨創を主張するのではない。この新勢力に關する開拓的な仕事は、既に他の人々に依つて行はれて來た。我々は、今日廣く考慮し始められて來た處のものを、唯言葉を以て表はすのみである。機械的發明の裡に育まれ、その發明されたものを、我々の

娛樂の爲に、又我々の利益の爲に、十分に利用すべく決められた「時代の哲學」を述べるまでゝある。

過去十二乃至十五年間に行はれた映畫利用に關する研究、映畫の將來に就いての考究、これ等は總て、一般の關心が、國民文化と映畫の發達とを結附ける事に向けられて來た證左に他ならない。三つの非常に異つた立脚點から、映畫問題に向つて關心が集つて來た。それは道德家、教育家及び映畫業者のそれであつて、この三者が協力すれば、その勸奬は有效且つ積極的なものとなる。進歩的な映畫業者の影響は、研究の方向を暗示することに依り、或は研究材料を提供することに依り、總ての研究調査の中に現れて來る。初期の調査研究の結論に一つの共通した一致點が見出される。しかしそれを實行せんとする企は殆んど否全くなかつた。彼等は國民及び政府の後援を缺いてゐたし、又多くの場合、唯單に大きな問題の一部分のみを取扱つたに過ぎなかつたのである。更に、必要ある時に起つて活動すべき機關がなかつたのである。この事は實に我々が中心的な常設機關の設置を希望し、その實現に援助を與へられん事を提示する最も有力な理由なのである。

八、主要なる研究

最近出版した二報告書に於て、過去の研究を十分に、又同情をもつて批判してゐるので、こゝでは單にそれ等を列擧し、最も重要視すべき結論を記すのみに止めやう。

破壞的な批判、發達途上にある產業を壓迫するが如き企は排斥しなくてはならない。之等は決して責任ある據所から出て來るものでもなく、又效果あるものでもない。兒童に對する特別マチネ。映畫協會の事業。之等は他の章で論じ、批判する筈である。從つて、此處に二つの研究分野が殘る。それは即ち道德家及び教育家の夫々獨自の、又この二者の協力に依る研究である。

九、社會道德國民會議（一九一七年）―「教育と映畫」（一九二五年）―ロンドン市參事會の調査（一九二一年）―帝國教育會議（一九二三年一九二七年）

過去の歷史を顧る時、「社會道德國民會議」の調査は忘る事が出來ない。責任ある團體が、映畫問題の全般に亘つて、研究調査したのは、實に之が最初である。映畫業者も大いに之を歡迎し、一九一六年十一月二十四日、その會議に於て、「社會道德國民會議に、映畫の社會的、道德的、教育的、殊に青少年に對する影響の調査研究を依賴する」ことを議決した。ジェームス・マーチャント卿を委員長とする委員會が設置せられ

（イ）社會的道德的局面より見たる映畫。（ロ）兒童教育と映畫。（ハ）光線と眼の疲勞。（ニ）

興行映畫の檢閲。　この四項目に就て夫々調査をなし、一九一七年報告を發表した。

心理學的調査委員（スペアマン、バード兩教授及びヒルポット氏）の報告「教育と映畫」（一九二五年）は、權威ある基礎的な調査研究を記錄したるものにして、映畫問題研究者の必ず一讀すべきものである。

教育當事者として、又一九〇九年の活動寫眞法に依り許可せられた認定機關として、最も大なるロンドン市參事會が映畫問題に對して拂ひたる注意は、記憶せらるべきである。ロンドン參事會は二回、映畫關係事項を教育委員會に委囑した。

帝國教育會議は二回映畫問題を取扱つた。一九二三年ゴーレル卿を委員長とする委員會が設けられ、一九二四年に報告を發表した。一九二七年の會議に於ては、英帝國に關する知識普及を目的とする映畫利用に就て報告を發表した。

之等は初期の調査研究時代を代表するものである。

一〇、初期の研究の結果　―　學務局長の意見（一九二五年）―ロンドン市參事會教育委員會の報告（一九二六年）

現在の思潮より見る時、之等の所論を否定するものは少しもない。社會道德國民會議の報告書は、「映畫館は、大衆にとつて、又兒童にとつても、……安價な娛樂機關として非常に大なる價值を持つてゐる。その改善は、單に實行されなくてはならない事であるのみでなく、實に國家として重要な事である。」と述べてゐる。教化的方面を見れば、又同書は、「若し學校に於ける課程と聯絡を保たしむれば、映畫は教育の一方法として大なる價值を有す。………映畫は兒童の腦裡に價值ある知識の基礎を持込む事が出來るが、之は他の如何なる方法を以てしても不可能な事である。」と云つてゐる。帝國教育會議ゴーレル委員會は「映畫は、教育の方法を提供するものとして、眞に價值あるものと成り得る。又教育協會等の常備品として、當然認めらるべきものたり得ると云ふ見解は種々の事實が、之を支持してゐる。」と述べてゐる。又今日、最も教育上から要求されてゐる「特殊問題の說明方法に對し最も適切なる機關に依つてなされる積極的指示」を要求してゐる。

ゴーレル委員會の報告を受けて、學務局長は、一九二五年三月二日下院に於て、次の如く述べてゐる。「私はなほ疑問とする處を持ち、更に教育目的に就いての映畫の實際的使用能力に關する調査を行はしめた。その結果、教育の道具としての映畫の獨特の地位と機能とは、未だ決定し得ないと考へたい。しかし、我々の複雜な文明生活を說明する映畫は、教室で與へられる教育に對して、

背景を補ひ、又其意義を强調し、興味を增加する事に依つて、非常に有效な用途を持ち得る。かくの如き映畫は廣い意味に於て、兒童教育のみでなく成人教育の具となる。併し、教室に於る特殊教育の方法としての映畫利用問題に關する限り、私の研究の結果には、未だ疑問が存する。教育的實驗こしての分野はある。しかし、この問題に就いて、私は、特に勸奬する時期に到着したこは考へてゐない。」

ロンドン市參事會教育委員會は非常に愼重であつた。實驗的な仕事は米國その他の國々で既に行はれてゐるが、教育目的に使用する方面に、映畫は、既に十分發達してゐるかこ云ふ事には疑問を持つてゐた。映畫を、學級課程と連絡させる事は非常に困難であり、又映畫を、小學校の問題範圍内に制限する事は、その範圍が非常に狹くなる。從つて、映寫機が非常に高價であり、フイルムの數が限られて居り、その他種々の事情を考慮して、同委員會は參事會に對して、校外の、立派な個人的映畫事業奬勵政策放棄を勸告し、又教室映畫設備等經費を多額に要する政策を提議する事を躊躇した。

一一、情況の變化 ― 學務局長の意見（一九三〇年）― 小學校（一九三一年）― 英國成人教育協會委員會 ― 大英協會協同委員會（一九三〇年）

次期即ち一九二九年より今日に至る間は、映畫問題に對して大いに關心を持たれた時代であつて、初期時代こ比して、顯著な對照をなしてゐる。科學團體、教育團體、或は教育會等が仕事を分擔し始めた。本委員會の設立も、元々英國成人教育協會及科學勞働者協會の、夫々獨自の、しかも時を同じうして起きた活動に起因するものである。而して政府に於ても、その中四省は委員會に代表を派遣せられ、其他の官省も亦緊密な聯絡を結ばれたのである、一九三〇年學務局長は委員會代表に對しての次の如く意見を開陳した。「委員會の努力には、非常に興味を持つてゐるこ私は確信する。映畫が民衆生活の上に强力な勢力を有する事を自覺しない者は居ない。映畫をめぐる、教育的價値に關する問題を解決せんとする貴會の努力を、私は同情をもつて眺めてゐる。私は現在の映畫が兒童及成人に及ぼす影響に就て批判するの必要は持たないが、教育及び教化映畫は、近き將來に於て、重要なる教育的な役目を爲すものと確信する。」

學務局長諮問委員會は、小學校に關する報告書中に、學校に於るラヂオ及映畫の地位を强く主張してゐる。「ラヂオも映畫も、現在の生活、兒童の生活上に、重要な役割を持つてゐる。共に國民に對し

て、力強い教化的效果を働きかける能力を持つてゐる。從つて、學校に於る教育機關の中に、地位を占めんとするその要求を阻止する事は出來ない。」

英國成人教育協會は映畫委員會を設置した。同委員會は、一般映畫プログラムの教育的内容に關する調査をなし、又一九三〇年及一九三一年の二回、學習の機械的補助展覽會を開催し、機關雜誌(Sight and Sound) を刊行してゐる。

大英科學奬勵協會は一九二九年我が委員會と協力すべく委員會を設けた。

一二、最近の報告書 —「歴史教授上の映畫の價値」(一九三一年)—「學校に於ける有音映畫」(一九三一年)

極く最近、二報告書が出版せられたが、それは教育映畫問題を取扱つたものである。歴史教授上に於る映畫利用に就いて調査した最初の團體である歴史協會は「歴史教授上の映畫の價値」を發表した。教員聯盟はミドルセックス教育委員會、ミドルセックス州の市町當局及び映畫會社と協力して「學校に於ける有音映畫」を發表した。

「映畫を教育に利用する事に關する調査研究は、既に英國其他の國々に於て行はれて來た。それ等の所論に顯著な一致點がある。それは、教育家及心理學者は、學校に於ける映畫使用の效果を認めてゐると云ふ事である。しかるに、映畫を教育上に利用すると云ふ事は、米、佛、伊、獨、日等の諸國に比して、英國は非常に遲れてゐる。之は英國に於ては、映畫業者と教育家との、聯絡が欠けてゐるからである。彼等が共に協力して映畫問題を取扱つた事は未だ曾てなかつたのである。」(ミドルセックス報告書第九章)

「教育映畫問題に關し、時に映畫製作者と教育家との間に、難關が生じて來た。製作者は、販路がない爲に映畫を作る事を拒む。教育家は又、觀なくては映畫の價値を判斷する事が出來ないので、映畫に頼らうとしない。現代文明中映畫は有力な要素である。教育家も映畫の力を無視する事は出來ない。この力を、我々自身の爲に利用出來るかどうか、この調査研究は我々の義務である。」(歴史協會報告書。第一章)

一三、スコツトランド — 檢閲 — 婦人國民會議(一九三〇年)— 母の會(一九三一年)— 學校兒童と映畫(一九三二年)

我が委員會は事業を始むるに當り、幸にも、スコツトランドの教育團體と密接な聯絡を保つ事が出來、更に代表者を迎へる事が出來た。同地方に於る映畫研究は、エヂンバラ及グラスゴーで行はれてゐるが、その研究は價値ある貢獻をなすものと期待してゐる。

婦人國民會議と母の會とは、同情的な傾向を持つて特に檢閲問題に關する報告書を發表した。映畫が、兒童に及ぼす影響に關する報告は、實に多數あるが、その中最も權威あるものとして採り得るは、視學官がロンドン市參事會に提出した報告書である。

その他種々研究調査が行はれた。その中には、重要なる價値を持つものもある。しかし、それ等は總て非協同的なものであつて、その間に何等聯絡がない。指導と統制との缺如は發達を阻げ、努力を無駄にする。一九三〇年十數ケ團體が同樣な仕事に從事してゐて、それ等團體の接觸協調の必要なる事を我が委員會は發見した。こゝに於て、我々はこの統制聯絡に力を致し相當の效果を納めた。

一四、映畫と官省 — 植民地映畫委員會報告書（一九三〇年）

各官省は、一般に考へてゐる以上に、映畫とは密接な關係を持つてゐるものである。我が委員會も、直接に間接に、その援助を受けてゐる。教育及び社會關係の學務局、スコツトランド事務局、農漁省保健省は云ふまでもなく、內務省は、一九〇九年活動寫眞法を施行し、又最近には、映畫檢閲諮問委員會を設置した。軍部關係各省では、娛樂及訓練に映畫を使用してゐる。例へば海軍省では、戰術、砲術、魚雷術の訓練、水上飛行訓練及び飛行機設計用の記錄。體育、衞生、潜水艦訓練その他種々の方面に映畫を使用してゐる。拓務省は最近重要な報告書を發表し委員會を設けて特殊の調査を行つてゐる。貿易局は映畫企業と關係があり、帝室軍事博物館は映畫記錄と關係がある。カナダ事務局は映畫の帝國問題とは密接な關係があり、その一課である帝國貿易課は、單に科學的教育的映畫を映寫するのみでなく、映畫製作さへ行つて貢獻する處大なるものがある。かく見て來る時、映畫と關係を有しない官省は、一として無い事が分る。

一五、映畫勢力の增大

今や最も必要なるは、調査研究ではなくして、實行であり、又仕事を遂行する責任ある機關の存在と云ふ事である。今まで述べて來た處から見ても、映畫は、既に國民の生活にとつて、有力なる一勢力となり、廣い意味に於て、積極的に教育目的に利用さるべきものである事が解せられる。その說明には苦心を要すが、今日では最早說明を要しない。オツクスフオード大學の學生も映畫館へ行つて、言譯をする必要もない。映畫館へ行く知識階級の眞面目な人が增加して來た。有名な映畫を知らず、又有名な俳優の演技を知らないと云ふ樣な人は稀である。ウイークリー等も映畫欄を設けてゐる。書籍、繪畫、音樂が批評せられる時、映畫も亦同じく批評される。映畫は勢力を獲得しつゝある。しかしながら、映畫はその勢力を獲得するまでは戰はなくてはならなかつた。今まで映畫

は輕視されて來た。道德的な禁束の下に在つて、映畫は娛樂の一形式を創造した。映畫は舞臺を知らず、本も殆ど讀んだ事もない人々に、快樂と慰安とを與へる。

一六、知識及娛樂の機械的補助物

過去數百年の間、我々の知識と文化との源泉として、優越な地位を占めて來た印刷された書籍も、映畫のみでなく、ラヂオ、蓄音機、或は又未だ實驗の域を脫せざるも、近き將來に於て最も重要な地位を占めるであらう處のテレヴイジヨンの如き、知識及娛樂の機械的補助物によつて脅威を受けつゝある。機械文化、或は鑵詰音樂と呼ぶ事は、文化的勢力としての印刷術の發明を無視したと同樣に、實にくだらない事である。無分別、無關心から、機械を人類の支配者たらしめず、機械を支配し、我々の利益の爲に驅使する事に努むるは、我々人類の義務である。

蓄音機も一時は家庭から驅逐せられたが、やがて又迎へられて、多くの人々に、音樂の經驗を積む機會を與へ、かくして、新しい知識を持つて音樂會へ行く樂しみを與へる樣になつて來た。放送事業は、英國に於ては、最初から確固たる指導の下に發達し來つた。かくして、新聞雜誌以外に、印刷した字を見出せない數千の家庭に於ける唯一の敎化機關となつた。英國放送協會の事業に就て意見を述べるのは、我々の仕事ではない。しかし、協會の制御力の强さ、又强力なる、國民の趣味

及道德に働きかける執行力を强調したい。しかるに、映畫は、英國に於ける限り、英國文化に何等效果的な關係を保たずして發達しつゝある。

一七、外國に於ける映畫統制

他國に於ては、政府と密接な關係を持つた映畫協會を設立する事に依り、映畫の發達助成及び統制に力を注いでゐる。之等の協會の中の或るものは、我々が躊躇するが如き權能を持つてゐる。蘇國に見るが如き、政府の統制、或は娛樂、藝術に對する嚴格な監督、之等は不自然で、不健康で、又我々の國民傳統に反するものと考へてゐる。英國の敎育團體は、映畫業者と有效に協調を保つ事は出來る。しかし、若しその發達を自ら管理せんとせば、夫自身の目的まで破壞してしまふだらう。我々は、國民映畫協會と云ふ形の下にこの協力機關が組立られることを希望するものであるが、一般國民の援助なくしては到底その成果は納め得ない。映畫を組織的に利用すると云ふ事は、一種の國民的事業であると考へてゐる。國民の批判が組織的であれば、それだけ映畫產業を援助する事が出來る。映畫業者が、一般國民の協力を歡迎してゐる事は、その代表者によつて常に主張せられてゐる處である。

一八、映畫製作國の聲價

映畫製作國に於ては、映問書題は、單なる國内的問題たるに止らず、實に國民的事業である。映畫製作國の聲價は、その輸出したる映畫に依つて左右され、批判される。映畫はその國の劇や、本を知らない多數の人々によつて觀られる。英國以外の國々は、その國民性を表現した映畫を製作してゐる。それ等の映畫は何かその國獨特のものを持つて居て、之は獨乙の、ロシヤの、或は佛蘭西のと、明確に指摘する事が出來る。獨乙の「ヴォドビル」「カメラードシャフト」、ロシヤの「全線」及び「アジアの嵐」、佛蘭西の「テレズラカン」「巴里の屋根の下」等をその例として擧げ得る。又米國の「幌馬車」の如き映畫もこの中に加へる事が出來やう。

活氣ある特徴ある藝術、殊にその藝術が一般的で、立派な娯樂である時、その製作國民は活氣ある國民であると判斷してもよいだらう。今までの處、英國に於て、この種の映畫が、殆ど製作されなかつた事は認めるとしても、今日英國映畫産業中に、將來に大なる希望を期待し得る新しい活氣ある發展の徴しが見えて來た事は非常に喜ばしい。我が委員會が提出する所の仕事は、この運動を援助して、その具體化實現、否、より大なる仕事を爲し得るものと思ふ。

一九、建設的な批判の必要

映畫は、今まで、非形體的な、非建設的な批判を甘受しなくてはならなかつた。映畫は、非常に廣汎な變化を持つた內容を展開する。優秀な手腕と見識とを以て扱へば、映畫は立派な悲劇、喜劇を描き出す。若し一度、その取扱ひを誤れば、下品な退屈なものになつてしまふ。惡い映畫の下品さ、退屈さには耐へられないし、又有害なものである。しかし映畫の惡影響と云ふものは、餘に重く視られてゐる。それに對しては無批判な非難も一部の責任を持つてゐる。漠然と、無批判に、映畫は有害なりと云つてしまふのは易しい。立派なものと、惡いものとを鑑定する事は非常に困難である。それは、知識を必要とするからである。

教育家の映畫に對する意見は、何等研究せずして、直に非難を加へやうとする傾向があつた。學生が映畫館へ行く場合、教師から、行つては惡いと云はれてゐる場所へ行きつゝある。自分は、禁斷の實を喰べやうとしてゐると云つた樣な感情を持つてゐるとすれば、道德的に有害なるものは、映畫ではなくして、實にその感情なのである。映畫の觀客に與ふる效果に關心を持つ人々は、映畫を觀て、その批判を加へつゝあるものを理解し、映畫の善惡を區別する事を學び、即ち彼等自身その關係を持つ人々の趣味を建設的に批判し、或はそれに影響を與へるだけの知識を具へる事が、その義務であると云ひたい。

二〇、國民批判力の向上

政府の手で、國民の趣味を左右せんとする企は、はたして效果あるやいなや疑問である。映畫觀客は知識を獲得しつゝある。國民は最早、映畫業者が押付ける、つまらない映畫を、だまつて受入れなくなつて來た。つまらない新聞の映畫欄にさへ、時に痛烈な批評を見る樣になつた。クオタ法の保護によつて、英國に於て、これまでよりは立派な映畫を、製作する機會を持つ樣になつて來た。立派な手腕を以て監督され、撮影された、娛樂的價値以上のものを持つた、面白い映畫は、その形式により、又その內容により、映畫に威嚴を添える。――かくの如き映畫こそ教育的な映畫である。

二一、釋義

「教化的」「教育的」「娛樂的」或は「趣味的」映畫と云ふ言葉を屢々用ひる。こゝで之等の言葉に或る定義を與へて置かう。「教育的」映畫と云ふのは、狹義では、教授用映畫、教員、研究者、或は學生の補助物としての、學校或は研究所內で用ひられる映畫を云ふ。又廣い意味に於て、一般的な教育映畫、或は「趣味的」な映畫に用ひてもよいだらう。科學研究用映畫、歷史記錄用映畫と云ふが如く細別する事もある。映畫は、單なる眼に訴へる教育の道具ではなくて、又娛樂の一手段であつて、現代藝術の一形式である。映畫が、國民の興味に喰入つて、殊に兒童、青少年に對して、文化的、社會的影響を最も力强く及すのは、映畫館に於てゞある。こゝに於て、映畫館と學校とは結付かなくてはならない。問題は唯一つである。この近代的產物である媒介物を若い人々の知識の發達助成の爲に、如何に利用するかと云ふ問題が之である。

一般映畫館に於る教育的映畫に就いて述べる時、我々は決して立派な娛樂を傷付けやうとするものではなく、寧ろ、新成分を加へる事によつて、その內容を豐富にしやうと希望するのである。兒童の映畫趣味訓練は、學校の義務なりとする時、教育の補助物としての映畫を、我々は輕視する事は出來ない。學校に於て、讀み方、文法、作文等を教へるが、これが目的ではない。立派な趣味と教養の養成に目的はあるのである。

文部省製作

活動寫眞フイルム目錄

〇印のものは皇室に關する映畫中頒布規程第三條及び第五條の取扱をなすものである。

△印は貸與映畫にして使用料各一卷一日に付一圓の割である。

頒布順	フィルム名稱	巻數	米數	價格
一	△關東大震大火實況	五	一、一八〇	四七二・〇〇円
二	△○皇太子殿下御成婚の御儀	二	五四五	二一八・〇〇
三	△○東宮同妃兩殿下神宮並山陵御參拜	三	八一五	三二六・〇〇
四	△○秩父宮殿下立山御登山	二	四五二	一八〇・八〇
五	△○觀菊會	二	三六五	一四六・〇〇
六	○皇太子殿下葉山海岸御水泳	一	二〇〇	八〇・〇〇
七	△運動競技の分解	二	五六五	二二六・〇〇
八	△女子の運動	二	五四五	二一八・〇〇
九	△麗はしき「日光」	二	四一二	一六四・八〇
一〇	△納稅美談北國の少年	二	三三五	一三四・〇〇
一一	△○皇后陛下御飼育の養蠶場	一	二三八	九五・二〇
一二	△○御渡歐の秩父宮殿下	一	二八五	一一四・〇〇
一三	△日本アルプス縱走	二	五四八	二一九・二〇
一四	△○皇太子殿下樺太行啓	二	四三五	一七四・〇〇
一五	北海の奇觀海豹島	一	二六二	一〇四・八〇
一六	△北方の富源樺太の產業	一	三一〇	一二四・〇〇
一七	△復活せる早慶野球戰	一	三〇五	一二二・〇〇
一八	△帆走練習の大成丸	一	一六四	六五・六〇
一九	故鄉の唄	五	一、一四五	四五八・〇〇
二〇	△日本三景安藝の嚴島	二	四二五	一七〇・〇〇
二一	子供の育て方	二	五九〇	二三六・〇〇
二二	△傳染病の病原體	二	四二〇	一六八・〇〇
二三	△蚊の一生と疾病の傳播	一	二六三	一〇五・二〇
二四	△日本三景雪の松島	二	四五五	一八二・〇〇
二五	△壺(線畫)	一	三〇五	一二二・〇〇
二六	△我國の製鐵工業	二	四七〇	一八八・〇〇
二七	△我國の古武道	五	一、二四〇	四九六・〇〇
二八	情の光	五	一、四一〇	五六四・〇〇
二九	雪の北越	一	二五五	一〇二・〇〇

三〇	△公衆作法東京見物	五	一、二七〇	五〇八・〇〇
三一	△航空船にて復興の帝都へ	一	二九五	一一八・〇〇
三二	昔の競技	三	六八〇	二七二・〇〇
三三	△蠅とその害毒	二	六一〇	二四四・〇〇
三四	△日本三景天の橋立	一	二四〇	九六・〇〇
三五	海の生物	二	五二〇	二〇八・〇〇
三六	富士と五湖巡り	二	三九〇	一五六・〇〇
三七	△奉公美談父を助けて	四	一、〇〇〇	四〇〇・〇〇
三八	△第三回汎太平洋學術會議	一	二四〇	九六・〇〇
三九	△○大正天皇御大喪の御儀	一	三〇五	一二二・〇〇
四〇	婦人の職業優しき力	二	五七五	二三〇・〇〇
四一	△我國の火山	二	六一〇	二四四・〇〇
四二	△國際親善人形のお使	二	四五五	一八二・〇〇
四三	この子この親	四	一、〇〇〇	四〇〇・〇〇
四四	鐵の光	四	九九〇	三九六・〇〇
四五	陸上競技	三	八九五	三五八・〇〇
四六	病毒の傳播（線畫）	一	三一〇	一二四・〇〇
四七	日本三景	一	二八五	一一四・〇〇
四八	我國の農業	二	五四八	二一九・二〇
四九	黒部峽谷探險	二	五八〇	二三二・〇〇
五〇	我が南洋	六	一、六八〇	六七二・〇〇
五一	動物界の母性愛	一	二八九	一一五・六〇
五二	七つの夢（線畫）	二	六一〇	二四四・〇〇
五三	十和田湖探勝	一	二六七	一〇六・八〇
五四	女子の體育	一	二九〇	一一六・〇〇
五五	乳兒の榮養	一	三〇五	一二二・〇〇
五六	鮭	一	二七五	一一〇・〇〇
五七	「うみねこ」の蕃殖地蕪島	一	二八〇	一一二・〇〇
五八	冬のスポーツ	一	二四七	九八・八〇
五九	△ボートとその漕ぎ方	一	二〇〇	八〇・〇〇

六〇	△悠紀主基齋田御田植祭	一	二〇五	八二・〇〇
六一	劔岳	二	三六五	一四六・〇〇
六二	△○御大禮の御儀	二	五九五	二三八・〇〇
六三	△悠紀主基齋田拔穗式	一	二〇三	八一・二〇
六四	△閑院宮殿下御親閲 京都府青年訓練、學校教練	一	一六五	六六・〇〇
六五	十二指腸虫の發育と其感染經路	二	五五〇	二二〇・〇〇
六六	人體寄生虫と其の中間宿主	二	五三〇	二一二・〇〇
六七	△○御大禮觀兵式特別觀艦式	一	二三二	九二・八〇
六八	水泳	二	四三三	一七三・二〇
六九	有用動物「牛」	一	二八五	一一四・〇〇
七〇	體操	二	(一)二五〇 (二)二八五	一〇〇・〇〇 一一四・〇〇
七一	實業補習教育 (都市の巻)(農村の巻)(漁村の巻)	三	二九五 三〇〇 二三八	一一八・〇〇 一二〇・〇〇 九五・二〇
七二	魚の國(線畫)	一	三〇二	一二〇・八〇
七三	雪國の一日	一	二三〇	九二・〇〇
七四	赤石岳	二	五四五	二一八・〇〇
七五	△○天皇陛下關西行幸	二	五八三	二三三・二〇
七六	駒ケ岳の爆發	二	四八八	一九五・二〇
七七	△世界一週飛行ツェッペリン伯號	一	三〇五	一二二・〇〇
七八	△日出づる國	三	七九〇	三一六・〇〇
七九	△覺めよ國民	二	六〇五	二四二・〇〇
八〇	二つの世界(漫畫)	一	三〇四	一二一・六〇
八一	○第五回明治神宮體育大會	三	八四五	三三八・〇〇
八二	△○御親閲 昭和四年十一月水戸堀原練兵場	二	四四三	一七七・二〇
八三	△萬國工業會議	二	四九〇	一九六・〇〇
八四	△新宿御苑	一	二一三	八五・二〇
八五	忠吉は歸つた(線畫)	一	三〇五	一二二・〇〇
八六	生きる力	五	一、四三〇	五七二・〇〇
八七	幼兒の運動	一	二二八	九一・二〇
八八	○皇后陛下東京女子高等師範學校行啓	一	二〇四	八一・六〇

八九	櫻	一	一五二	六〇・八〇
九〇	△○天皇陛下復興帝都御巡幸	一	二五八	一〇三・二〇
九一	石油	二	四〇〇	一六〇・〇〇
九二	昭和の帝都	二	四七〇	一八八・〇〇
九三	△極東選手權競技大會 總裁宮殿下御招待	一	二七〇	一〇八・〇〇
九四	○皇太后陛下東京音樂學校行啓	一	二六〇	一〇四・〇〇
九五	△○海洋少年團御親閲	一	三〇〇	一二〇・〇〇
九六	○皇后陛下東京聾啞學校行啓	一	二六五	一〇六・〇〇
九七	○皇后陛下東京盲學校行啓	一	二七五	一一〇・〇〇
九八	鹿島槍ケ岳と下廊下	二	四九五	一九八・〇〇
九九	禮儀作法	二	五一五	二〇六・〇〇
一〇〇	○ガラスの話	二	四一五	一六六・〇〇
一〇一	鹽の話	二	四八〇	一九二・〇〇
一〇二	○全國男女青年代表御親閲	二	三六〇	一四四・〇〇
一〇三	△明治の輝	三	六三〇	二五二・〇〇

一〇四	明治神宮奉納神事舞	二	三八五	一五四・〇〇
一〇五	ろば（漫畫）	一	二九〇	一一六・〇〇
一〇六	△敎育勅語渙發四十年記念式	一	二〇〇	八〇・〇〇
一〇七	○御親閲　昭和五年十一月岡山練兵場	二	四三〇	一七二・〇〇
一〇八	鯨	二	四七五	一九〇・〇〇
一〇九	水の力	一	二〇〇	八〇・〇〇
一一〇	北伊豆震災	二	三七五	一五〇・〇〇
一一一	輝く愛	五	一、一五〇	四六〇・〇〇
一一二	タヌ吉のお話（漫畫）	一	二九五	一一八・〇〇
一一三	陽光を仰ぐ	五	一、二〇〇	四八〇・〇〇
一一四	五一ぢいさん（漫畫）	一	三〇〇	一二〇・〇〇
一一五	マッチの話	二	五三〇	二一二・〇〇
一一六	尾瀬	二	四二〇	一六八・〇〇
一一七	小笠原島	二	四四〇	一七六・〇〇
一一八	セメント工場	三	七二五	二九〇・〇〇

一一九	心の力（千代紙映畫）	一	三〇三	一二一・二〇
一二〇	地震と震災	三	八三五	三三四・〇〇
一二一	○御親閲 昭和六年十一月熊本帯山練兵場	三	六二〇	二四八・〇〇
一二二	二化螟蟲と其驅除	三	一、〇二〇	四〇八・〇〇
一二三	狼は狼だ（漫畫）	一	三〇〇	一二〇・〇〇
一二四	健康美	三	七九五	三一八・〇〇
一二五	兄弟こぐま（漫畫）	一	三〇〇	一二〇・〇〇
一二六	○御親閲 昭和七年十一月大阪城東練兵場	二	六〇〇	二四〇・〇〇
一二七	蜜蜂（養蜂篇）	二	五八五	二三四・〇〇
一二八	飛行機の話	三	九〇〇	三六〇・〇〇
一二九	隅田川	二	四七〇	一八八・〇〇
一三〇	海の底の話	一	二三〇	九二・〇〇
一三一	満洲 序篇	一	三〇〇	九〇・〇〇
	満洲 資源篇	二	六〇〇	一八〇・〇〇
	満洲 地方篇	五	一、五〇〇	四五〇・〇〇
一三二	東京の四季	四	一、〇八〇	四三二・〇〇

一三三	日本學術振興會總裁宮殿下奉戴式	一	一七五	七〇・〇〇
一三四	臺所の改善	二	三四〇	一三六・〇〇
一三五	與七郎の敬禮（漫畫）	一	二九六	一一八・四〇
一三六	○御親閲 昭和八年十月於福岡市郊外	二	五五〇	二二〇・〇〇
一三七	良き公民として	三	七五〇	三〇〇・〇〇
一三八	○皇國の榮	二	四六五	（無聲）一八六・〇〇 （發聲）二三二・五〇
一三九	タヌ吉のお話（發聲）	一	二九五	一四七・五〇
一四〇	瀞八丁	一	二九〇	一一六・〇〇

フイルム頒布に就て（規程摘要）

一、頒布フイルム

後掲目錄に記載のものはすべて頒布す。一組二卷以上のものは、希望により各卷分割して頒布す。

但し目錄中〇印のものについては次の事項に依る取扱をなす。

文部省製作活動寫眞「フイルム」頒布規程拔抄

（第三條）「フイルム」ノ頒布ヲ受ケムトスル者ハ其ノ旨文部省ニ申請スベシ、但シ皇室ニ關スル「フイルム」

ニ付テハ官衙學校圖書館博物館公共團體公益團體新聞社通信社及雜誌社ニ限リ申請スルコトヲ得

（第五條）「フイルム」ノ頒布ヲ受ケタル者ハ左ノ事項ヲ遵守スベシ

一、皇室ニ關スル「フイルム」ハ營利ノ目的ヲ以ツテ使用セザルコト

二、皇室ニ關スル「フイルム」ハ第三條但書ニ掲グル者ニ對スル外之ヲ讓渡又ハ貸與セザルコト

三、皇室ニ關スル「フイルム」ハ特ニ保管ニ注意シ滅失又ハ盜難ニ罹リタル時ハ其ノ顚末ヲ詳記シ直ニ之ヲ文部省ニ報告スルコト

四、複製改竄其ノ他ノ變更ヲ加ヘザルコト

五、「フイルム」ヲ讓渡シタルトキハ讓受人ト連署シ其ノ旨遲滯ナク文部省ニ報告スルコト

前掲第一號乃至第四號ハ「フイルム」ノ讓渡ヲ受ケタルモノ又ハ貸與ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

二、頒布價格

後掲目錄記載の通り（全部一メートル四十錢の割）

三、頒布申請の手續

フイルムの頒布を受けんとする者は別記樣式の頒布申請書を本省に差出すこと。

但し、フイルム觀覽の上頒布を受けんとする者には希望フイルムを本省映寫室に於て試寫供覽す。

四、代金納入及びフイルム交付

フイルムの代金は、申請書受理後本省より送付する納入告知書により最寄日本銀行本支店又は代理店に納入のこと。然る時は直ちに本省よりフイルムを交付す。

但し、この場合フイルムの送料及び荷造費を要せず。

五、其他

フイルムの使用特に急を要する場合其他詳細に關しては、口頭又は書面を以て文部省社會教育局庶務課に照會のこと。

六、頒布申請書樣式

活動寫眞「フイルム」頒布申請書

一　フイルム名稱　卷數

昭和三年文部省告示第三百四十二號所定ノ事項ヲ遵守スベキニ付右御頒布相成度

年　月　日

申請者

住所

氏名　㊞

文部省宛

フィルム貸與に就て （規程摘要）

一、貸與フィルム

後掲目錄中△印を附したるものに限り貸與す。

但し、皇室に關するフィルムは公益の目的を以て使用する者以外には貸與せず。

二、使用料

總て一卷一日に付金壹圓の割とす。

但し、往復共運送に要する日數は加算せざるも、使用期間滿了の翌日中に發送せざる時は遲滯日數に對する使用料を追徴す。

三、運賃及荷造費

往復とも被貸與者の負擔とす。

四、貸與申請の手續

フィルムの貸與を受けんとする者は、別記樣式による申請書をなるべく使用期日の一週間以前に本省に到着する樣差出すこと。

五、使用料の納入

使用料は前納とし、本省に於て申請書受理後送付する納入告知書に依り最寄り日本銀行本支店又は代理店に納入のこと。

但し急を要する場合は豫め郵便爲替にて前納するも差支へなし。

六、貸與申請樣式

活動寫眞「フィルム」貸與申請書

昭和三年文部省告示第三百四十三號所定ノ事項ヲ遵守スヘキニ付左記ノ通「フィルム」御貸與相成度

記

一 フィルム名稱　卷數
一 使用ノ目的
一 使用ノ期間
一 使用回數
一 使用場所

一　映寫機名稱

一　映寫技師ノ職氏名

一　説明者ノ職氏名

年　月　日

申請者

住所

職名氏　名　㊞

文部省宛

映畫に關する事項は

文部省社會教育局庶務課（東京市麹町區三年町）に

照合せられたし

電話　銀座（57）
五、七七一(8)
五、七八一(5)
長五、七七〇
長五、七七九

省内電話
三〇〇
三〇一

終